第３章

シート防水の使い分けと標準工法

シート防水の標準工法を大別して、接着工法と機械的固定工法に分類し、さらにその工法を適用部位別に区分して、これらに対するシートの種別ごとの使い分けを示す。
又、シート防水による安全で、確実な防水層を提供できるようにルーフィングシート種別ごとの標準的な納まり図を示す。

３－１　シート防水層の種類

（1）標準工法

シート防水層は、接着工法（10 種類）、機械的固定工法（7 種類）の 17 種類を標準工法とした。表 3-1-1 には、標準工法と材料種別の関係を示す。

表 3-1-1　標準工法と材料

区分	KRK工法記号	工法名称	下地	工法の特長	RV	RN	RP	RE	RT
接着工法	F 1 0 1	露出接着工法	RC	豊富な色彩と軽量かつ優れた防水機能をもつ。シート防水の基本工法である。	○	○	○	○	○
	F 1 0 2	露出接着工法	PCa ALC	防水下地のムーブメントで破断しないよう工法的に処理されており、優れた防水機能を発揮する。	○	○	○	○	○
	F 2 0 1	軽歩行接着工法	RC	豊富な色彩と軽量かつ優れた防水機能をもち、併せて軽歩行が可能である。	○	○	○	○	○
	F 3 0 1	保護接着工法	RC	保護層を設けることにより、歩行が可能であるほか、広範囲の部位への適用が可能である。			○	○	
	F 3 0 1 W	保護二層接着工法			○	○		○	
	F 4 0 1	露出断熱接着工法	RC PCa ALC	豊富な色彩と軽量かつ優れた防水機能をもち、併せて断熱効果を発揮する。	○	○	○		○
	F 4 0 1 S	露出断熱接着Ｓ工法	RC PCa ALC	断熱材を下地に部分接着することにより下地の不陸の影響を受けにくい。	○		○		
	F 5 0 1 注1	保護断熱接着工法	RC	防水層の保護と断熱効果の保持をはかり、かつ、歩行を可能にする。			○		
	F 5 0 1 D	保護断熱接着Ｄ工法	RC	断熱材が防水層の上層となるため保護層の影響を受けにくい。			○	○	
	F 5 0 1 DW	保護断熱二層接着Ｄ工法			○	○		○	
機械的固定工法	M 1 0 1	露出機械的固定工法	RC PCa	シートを下地へ機械的に固定するので下地の影響を受けにくい。	○		○		○
	M 1 0 2	露出機械的固定工法	ALC		○		○		○
	M 2 0 1	軽歩行機械的固定工法	RC	機械的に固定するため、下地の影響を受けにくく、かつ軽歩行も可能である。	○		○		○
	M 4 0 1	露出断熱機械的固定工法	RC PCa ALC	断熱材とシートを下地へ機械的に固定するので下地の影響を受けにくい。	○		○		○
	M 4 0 3	金属下地断熱機械的固定工法	金属	乾式の金属下地への機械的固定工法で、軽量でフラットな屋根となり、下地含めた工期が短い。	○		○		○
	M 5 0 1	保護断熱機械的固定工法	RC	防水層の保護と断熱効果の保持をはかり、かつ、歩行を可能にする。			○		
	M 5 0 1 D	保護断熱機械的固定Ｄ工法	RC	断熱材が防水層の上層となるため保護層の影響を受けにくい。	○		○		

注 1：F501 及び M501 の保護層は、コンクリート平板、ウレタン舗装板などの既成製品とする。

（２）標準工法の選定と適用

標準工法は、材料として日本工業規格（以下 JIS と示す）、工法としては国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「公共建築工事標準仕様書」（以下、「標仕」と示す）・同「公共建築改修工事標準仕様書」（以下、「改修標仕」と示す）・同「建築工事監理指針」（以下「監理指針」と示す）・同「建築改修工事監理指針」（以下「改修監理指針」と示す）、及び日本建築学会編「建築工事標準仕様書 JASS 8 防水工事」（以下 JASS 8 と示す）などに定められた工法並びに業界で多く採用されている工法とした。

今回の改定では、屋内防水として「標仕」、「改修標仕」に新たに採用となった「屋内保護密着工法」についての標準的な納まり図を追加した。

なお、適用に当たっては次の点に注意する。

① 露出、軽歩行及び露出断熱工法は、原則として多雪地で雪下ろしを必要とする屋根には適用しない。

② 寒冷地の屋根、ひさし、ベランダ及び駐車場の保護層としてブロックは適用しない。

③ 保護層に現場打ちコンクリート以外の保護材を使用する場合は、ルーフィングシート製造所の工法に従って選定する。

（３）接着工法及び密着工法と機械的固定工法

接着工法及び密着工法とはプライマー、接着剤を用いて、下地全面にシートを接着あるいは密着させる工法であり、機械的固定工法とは下地へ円盤状やプレート状の固定金具を用いて機械的にシートを固定する工法である。機械的固定工法の立上り部については、納まりの関係で接着工法を採用することもある。

（４）ＫＲＫ工法記号

標準工法に記載されている記号の内容は以下の通りである。

ＲＶ　：加硫ゴム系シート（Roofing Sheets of Vulcanized Rubber）
ＲＮ　：非加硫ゴム系シート（Roofing Sheets of Nonvulcanized Rubber）
ＲＰ　：塩化ビニル樹脂系シート(Roofing Sheets of Polyvinyl Chloride)
ＲＥ　：エチレン酢酸ビニル樹脂系シート（Roofing Sheets of Ethylene vinyl-acetate）
ＲＴ　：熱可塑性エラストマー系シート（Roofing Sheets of Thermoplastic Elastomer）
Ｆ　　：下地へ全面接着させる工法(接着工法)；Fully Bonded
Ｍ　　：下地へ機械的に固定させる工法(機械的固定工法)；Mechanical Fastened
１０１：非歩行工法（現場打ちコンクリート下地）
１０２：非歩行工法（板状下地）
２０１：軽歩行工法
３０１：保護工法
４０１：露出断熱工法
４０３：露出断熱工法（金属下地）
５０１：保護断熱工法
Ｗ　　：シートの２枚張り工法
Ｄ　　：防水層が下層、断熱材が上層工法
Ｓ　　：断熱材を下地へ部分接着させる工法；(Spot Bonded)

３－２　標準工法と適用部位

表 3-1-1 に示した 17 種類の標準工法について、適用される部位を材料種別ごとにまとめたのが、表 3-2-1「シート防水層の種類と適用部位」である。

また、標準工法と「JASS 8」及び「標仕」・「改修標仕」・「監理指針」・「改修監理指針」との対応も明確にした。

「JASS 8」及び「標仕」・「改修標仕」に使用される記号の内容を以下に示す（「監理指針」・「改修監理指針」については原則「標仕」に準じる）。

表 3-2-1　シート防水層の種類と適用部位

防水工法／種類			適用部位／箇所	標準厚さ(mm)	屋根	ひさし	ベランダ	地下外壁
接着工法	加硫ゴム（RV-F）	露出	非歩行	1.2	F101 F102	F101 F102	－	－
			軽歩行	1.2	F201	－	F201	－
			露出断熱	1.2	F401 F401S	－	－	－
		保護	保護	1.0+1.0	F301W	－	F301W	－
			保護断熱	1.0+1.0	F501DW	－	－	－
	非加硫ゴム（RN-F）	露出	非歩行	2.0	F101 F102	F101 F102	－	－
			軽歩行	2.0	F201	－	F201	－
			露出断熱	2.0	F401	－	－	－
		保護	保護	1.5+1.5	F301W	－	F301W	F301W
			保護断熱	1.5+1.5	F501DW	－	－	－
	塩化ビニル樹脂（RP-F）	露出	非歩行	1.5	F101 F102	F101 F102	－	－
			軽歩行	2.0	F201	－	F201	－
			露出断熱	1.5	F401 F401S	－	－	－
		保護	保護	1.5	F301	－	F301	－
			保護断熱	1.5	F501 F501D	－	F501 F501D	－
	エチレン酢酸ビニル樹脂（RE-F）	露出	非歩行	1.0	F101 F102	F101 F102	－	－
			軽歩行	1.0	F201	－	F201	－
			露出断熱	－	－	－	－	－
		保護	保護	1.0	F301 F301W	F301	F301	F301
			保護断熱	1.0	F501D F501DW	－	－	－
	熱可塑性エラストマー（RT-F）	露出	非歩行	1.2	F101 F102	F101 F102	－	－
			軽歩行	1.5	F201	－	F201	－
			露出断熱	1.2	F401	－	－	－
		保護	保護	－	－	－	－	－
			保護断熱	—	－	－	－	－
機械的固定工法	加硫ゴム（RV-M）	露出	非歩行	1.5	M101 M102	M101 M102	－	－
			軽歩行	1.5	M201	－	M201	－
			露出断熱	1.5	M401	－	－	－
					M403	－	－	－
		保護	保護	－	－	－	－	－
			保護断熱	1.5	M501D	－	M501D	－
	塩化ビニル樹脂（RP-M）	露出	非歩行	1.5	M101 M102	M101 M102	－	－
			軽歩行	2.0	M201	－	M201	－
			露出断熱	1.5	M401	－	－	－
					M403	－	－	－
		保護	保護	－	－	－	－	－
			保護断熱	1.5	M501 M501D	－	M501 M501D	－
	熱可塑性エラストマー（RT-M）	露出	非歩行	1.2	M101 M102	M101 M102	－	－
			軽歩行	1.5	M201	－	M201	－
			露出断熱	1.2	M401	－	－	－
					M403	－	－	－
		保護	保護	－	－	－	－	－
			保護断熱	－	－	－	－	－

【注】屋内Ａ：浴場・厨房など、Ｂ：駐車場、Ｃ：便所・機械室など
水槽類：受水槽・蓄熱槽など、人工池・庭園：建築物に取り入れたもの

屋内			地下駐車場	水槽類	水泳プール	人工池庭園	JASS 8	「標仕」「改修標仕」「監理指針」「改修監理指針」
A	B	C						
―	―	―	―	―	―	―	S-RF	S-F1
―	―	―	―	―	―	―		
―	―	―	―	―	―	―	S-RFT	SI-F1
F301W	F301W	―	F301W	―	―	―	―	―
―	―	―	―	―	―	―	―	―
―	―	―	―	―	―	―	参考仕様(ﾛ)	―
―	―	―	―	―	―	―		―
―	―	―	―	―	―	―	参考仕様(ﾛ)	―
F301W	F301W	F301W	F301W	―	―	―	―	―
―	―	―	―	―	―	―	―	―
―	―	―	―	―	―	―	S-PF	S-F2
―	―	―	―	―	―	―		
―	―	―	―	―	―	―	S-PFT	SI-F2
F301	F301	F301	F301	―	―	―	―	―
―	―	―	―	―	―	―	―	―
―	―	―	―	―	―	―	S-PC	―
―	―	―	―	―	―	―		
―	―	―	―	―	―	―	―	―
F301	F301	F301	F301	F301	F301	F301	参考仕様(ﾎ)	S-C1
―	―	―	―	―	―	―	―	―
―	―	―	―	―	―	―	―	―
―	―	―	―	―	―	―	―	―
―	―	―	―	―	―	―	―	―
―	―	―	―	―	―	―	―	―
―	―	―	―	―	―	―	―	―
―	―	―	―	―	―	―	S-RM	S-M1
―	―	―	―	―	―	―	―	―
―	―	―	―	―	―	―	S-RMT	SI-M1
―	―	―	―	―	―	―	参考仕様(ﾉ)	―
―	―	―	―	―	―	―	―	―
―	―	―	―	―	―	―	―	―
―	―	―	―	M101	M101	―	S-PM	S-M2
―	―	―	―	―	―	―	―	―
―	―	―	―	M401	―	―	S-PMT	SI-M2
―	―	―	―	―	―	―	参考仕様(ﾉ)	―
―	―	―	―	―	―	―	―	―
―	―	―	―	―	―	―	―	―
―	―	―	―	M101	―	―	参考仕様(ﾚ)	S-M3
―	―	―	―	―	―	―	―	―
―	―	―	―	M401	―	―	参考仕様(ｸ)	―
―	―	―	―	―	―	―	参考仕様(ﾉ)	―
―	―	―	―	―	―	―	―	―
―	―	―	―	―	―	―	―	―

【注】RV-F201、RN-F201、RE-F201 及び RV-M201 は軽舗装材を塗布する。
標仕以外の工法とは、「監理指針」、「改修監理指針」の表記による。
S-C1 は、「監理指針」、「改修監理指針」の種別選定の目安では、地下室、便所、湯沸室である。

（1）JASS 8 2014 年版記号

Ｓ－ＲＦ　：加硫ゴム系シート防水工法・接着仕様
Ｓ－ＲＦＴ：加硫ゴム系シート防水工法・断熱接着仕様
Ｓ－ＰＦ　：塩化ビニル樹脂系シート防水工法・接着仕様
Ｓ－ＰＦＴ：塩化ビニル樹脂系シート防水工法・断熱接着仕様
Ｓ－ＲＭ　：加硫ゴム系シート防水工法・機械的固定仕様
Ｓ－ＲＭＴ：加硫ゴム系シート防水工法・断熱機械的固定仕様
Ｓ－ＰＭ　：塩化ビニル樹脂系シート防水工法・機械的固定仕様
Ｓ－ＰＭＴ：塩化ビニル樹脂系シート防水工法・断熱機械的固定仕様
Ｓ－ＰＣ　：エチレン酢酸ビニル樹脂系シート防水工法・密着仕様

- 最初の文字は、防水層の種類を表す。
  Ｓ：シート防水層；Sheet
- －で結ばれた次の文字は、シート防水層では使用材料の系統を表す。
  Ｒ：合成ゴム（加硫ゴム）系の防水層；Rubber
  Ｐ：合成樹脂系（塩化ビニル樹脂系、エチレン酢酸ビニル樹脂系）の防水層；Plastics
- －の後の２文字目は、各防水層に対して共通であり、下地への固定形態を表す。
  Ｆ：下地へ全面密着あるいは接着させる防水層；Fully Bonded
  Ｍ：下地へ機械的に固定させる防水層；Mechanical Fastened
  Ｃ：下地へセメントペーストで張り付ける防水層；Cement Paste
- －の後の３文字目は工法により、追記される。
  Ｔ：シート防水において下地との間に断熱材を組み込んだ防水層；Thermal Insulated

（2）国土交通省「標仕」・「改修標仕」平成 28 年度版記号

Ｓ－Ｆ１　：加硫ゴム系シート防水全面接着工法
Ｓ－Ｆ２　：塩化ビニル樹脂系シート防水全面接着工法
Ｓ－Ｍ１　：加硫ゴム系シート防水機械的固定工法
Ｓ－Ｍ２　：塩化ビニル樹脂系シート防水機械的固定工法
Ｓ－Ｍ３　：熱可塑性エラストマー系シート防水機械的固定工法
Ｓ－Ｃ１　：エチレン酢酸ビニル樹脂系シート防水屋内保護密着工法
ＳＩ－Ｆ１：加硫ゴム系シート防水全面接着工法（断熱）
ＳＩ－Ｆ２：塩化ビニル樹脂系シート防水全面接着工法（断熱）
ＳＩ－Ｍ１：加硫ゴム系シート防水機械的固定工法（断熱）
ＳＩ－Ｍ２：塩化ビニル樹脂系シート防水機械的固定工法（断熱）

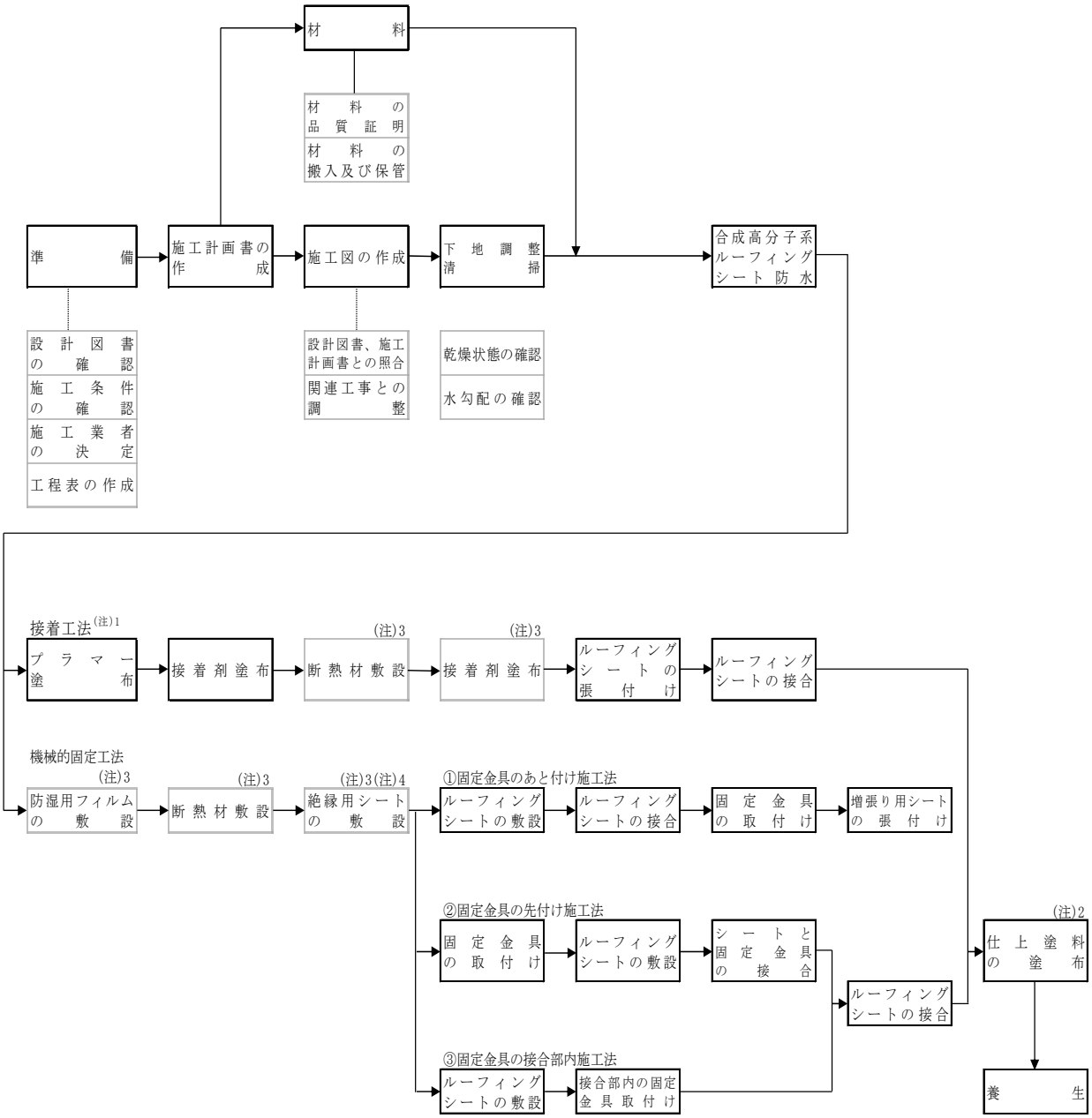
３－３　各標準工法納まり図と工程

工法（32～51 頁）ごとに、適用する材料・工法・下地・対応仕様、工程表及び施工納まり図を示した（対応仕様における国土交通省とは、「標仕」・「改修標仕」・「監理指針」・「改修監理指針」を指す）。

施工納まり図及び工程手順は代表的な例で記載しており、メーカー工法によってかわる。特に、機械的固定で施工する場合は、数種の固定方法があるので注意が必要である。図 3-3-1 に、接着及び機械的固定によってシート防水層を形成する仕事の流れを示す。

施工納まり図はルーフィングシート種別ごとの標準的な納まり図を一般部と特殊部位に分け、表 3-3-1 に一覧表として図番を明示した。工程表には標準使用量を記したが、下地調整材、軽舗装材及び固定金具の数量などは、建物の形状、下地の種類及び適用部位などにより異なるため、範囲で示した。また、シートについては標準的な厚さとした。

尚、特殊部位については、3-4 以降に部位ごとに示す。



注）1. 種別 S-F2 においてプライマーの塗布は、ALC パネル下地のみとする。

2. 「標仕」では規定されていないが、あらかじめ着色したルーフィングシートを使用する場合は、仕上塗料の塗布を省略することができる。

3. SI 工法（断熱工法）の場合、実施する。

4. 種別 SI-M1 の場合は、行わない。また、SI-M2 の場合で、断熱材が A 種硬質ウレタンフォーム保温板及びポリエチレンフィルム、ポリエチレン加工紙又はアルミニウム層の材質の面材付 A 種押出法ポリスチレンフォーム保温板を用いる場合は、行わない。

図 3-3-1　合成高分子系ルーフィングシート防水工事（断熱仕様）の作業の流れ

出典　国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「建築工事監理指針」

表 3-3-1　部位別工法番号一覧表

	部位	工法	シート種別	KRK工法番号	適用			図番
一般部	平場 立上り 入隅 末端	接着工法	加硫ゴム系	RV-F101	露出	1層	RC	01
				RV-F102	露出	1層	PCa, ALC	02
				RV-F201	軽歩行	1層	RC	01
				RV-F301W	保護	2層	RC	04
				RV-F401	露出断熱	1層	RC, PCa, ALC	05
				RV-F401S	露出断熱	1層	RC, PCa, ALC	07
				RV-F501DW	保護断熱	2層	RC	08
			非加硫ゴム系	RN-F101	露出	1層	RC	01
				RN-F102	露出	1層	PCa, ALC	03
				RN-F201	軽歩行	1層	RC	01
				RN-F301W	保護	2層	RC	04
				RN-F401	露出断熱	1層	RC, PCa, ALC	06
				RN-F501DW	保護断熱	2層	RC	08
			塩化ビニル樹脂系	RP-F101	露出	1層	RC	09
				RP-F102	露出	1層	PCa, ALC	10
				RP-F201	軽歩行	1層	RC	09
				RP-F301	保護	1層	RC	11
				RP-F401	露出断熱	1層	RC, PCa, ALC	12
				RP-F401S	露出断熱	1層	RC, PCa, ALC	13
				RP-F501	保護断熱	1層	RC	14
				RP-F501D	保護断熱	1層	RC	15
			エチレン酢酸ビニル樹脂系	RE-F101	露出	1層	RC	16
				RE-F102	露出	1層	PCa, ALC	17
				RE-F201	軽歩行	1層	RC	16
				RE-F301	保護	1層	RC	18-1
					屋内保護	1層	RC	18-2
				RE-F301W	保護	2層	RC	19
				RE-F501D	保護断熱	1層	RC	20
				RE-F501DW	保護断熱	2層	RC	21
			熱可塑性エラストマー系	RT-F101	露出	1層	RC	22
				RT-F102	露出	1層	PCa, ALC	23
				RT-F201	軽歩行	1層	RC	22
				RT-F401	露出断熱	1層	RC, PCa, ALC	24
		機械的固定工法	加硫ゴム系	RV-M101	露出	1層	RC	25
				RV-M102	露出	1層	PCa, ALC	26
				RV-M201	軽歩行	1層	RC	25
				RV-M401	露出断熱	1層	RC, PCa, ALC	27
				RV-M403	露出断熱	1層	金属下地	28
				RV-M501D	保護断熱	1層	RC	29
			塩化ビニル樹脂系	RP-M101	露出	1層	RC	30
				RP-M102	露出	1層	PCa, ALC	31
				RP-M201	軽歩行	1層	RC	30
				RP-M401	露出断熱	1層	RC, PCa, ALC	32
				RP-M403	露出断熱	1層	金属下地	33
				RP-M501	保護断熱	1層	RC	34
				RP-M501D	保護断熱	1層	RC	35
			熱可塑性エラストマー系	RT-M101	露出	1層	RC	36
				RT-M102	露出	1層	PCa, ALC	37
				RT-M201	軽歩行	1層	RC	36
				RT-M401	露出断熱	1層	RC, PCa, ALC	38
				RT-M403	露出断熱	1層	金属下地	39

	部位	工法	シート種別	適　　用	図番
特殊部位	ALCパネル下地の接合部	接着・機械的固定工法	全種	露出・軽歩行・保護・露出断熱・保護断熱共通	40
	シート相互の接合		全種	同上	41
	出隅角		加硫ゴム系	同上	42
			非加硫ゴム系		42
			塩化ビニル樹脂系		43
			エチレン酢酸ビニル樹脂系		42
			熱可塑性エラストマー系		43
	入隅角		加硫ゴム系	同上	44
			非加硫ゴム系		44
			塩化ビニル樹脂系		45
			エチレン酢酸ビニル樹脂系		44
			熱可塑性エラストマー系		45
	パイプ回り	接着工法	加硫ゴム系	露出・軽歩行・保護	46
			非加硫ゴム系		46
			塩化ビニル樹脂系		47
			エチレン酢酸ビニル樹脂系		48
			熱可塑性エラストマー系		47
			加硫ゴム系	露出断熱・保護断熱	49
			塩化ビニル樹脂系		50
		機械的固定工法	加硫ゴム系	露出・軽歩行	51
			塩化ビニル樹脂系		52
			熱可塑性エラストマー系		52
			加硫ゴム系	露出断熱	53
			塩化ビニル樹脂系		54
			熱可塑性エラストマー系		54
	ドレン回り	接着工法	加硫ゴム系	露出・軽歩行・保護	55
			非加硫ゴム系		55
			塩化ビニル樹脂系		56
			エチレン酢酸ビニル樹脂系		57
			熱可塑性エラストマー系		56
			加硫ゴム系	露出断熱・保護断熱	58
			非加硫ゴム系		58
			塩化ビニル樹脂系		59
			エチレン酢酸ビニル樹脂系		60
		機械的固定工法	加硫ゴム系	露出・軽歩行	61
			塩化ビニル樹脂系		62
			熱可塑性エラストマー系		62
			加硫ゴム系	露出断熱	63
			塩化ビニル樹脂系		64
			熱可塑性エラストマー系		64

注記）歩行・非歩行・軽歩行の定義

防水層上の歩行・非歩行・軽歩行の定義について、明確に規定している公的文献はないが、現状ＫＲＫでは以下の通り定義している。

【歩行】

・不特定多数の人の歩行の用途に供し、利用の制限を原則として設けない屋上利用。仕上げは原則保護コンクリート押え仕様

【軽歩行】

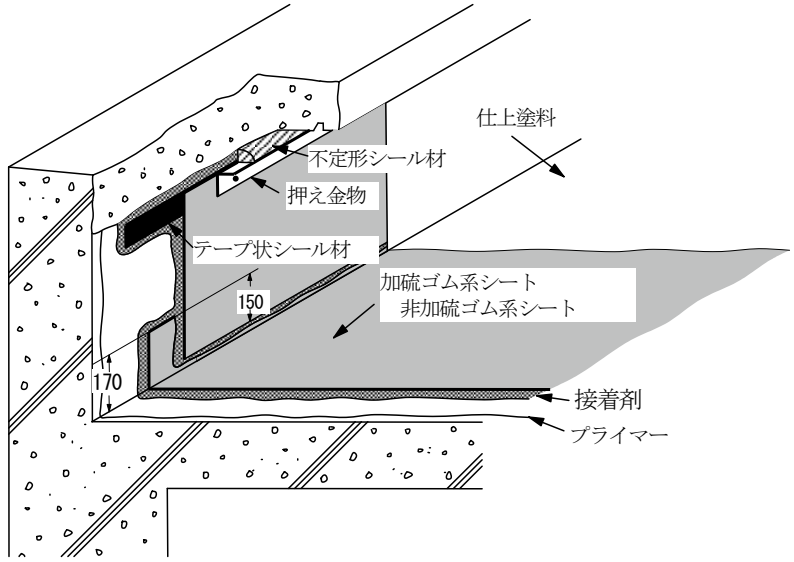
・防水層を傷つけない履物で歩行し、建物の所有者など限定的な人の歩行に供し、歩行頻度が比較的少ない屋上利用

【非歩行】

・防水層を傷つけない履物で歩行し、屋上設備点検など歩行頻度が極めて少ない屋上利用

KRK工法番号	シート種別	工法の種類	適用下地	JASS 8	国土交通省
ＲＶ－Ｆ１０１ ＲＶ－Ｆ２０１	加硫ゴム系シート	露出接着	RC	S-RF	S-F1
ＲＮ－Ｆ１０１ ＲＮ－Ｆ２０１	非加硫ゴム系シート			参考仕様(ロ)	―

図番01



［備考］

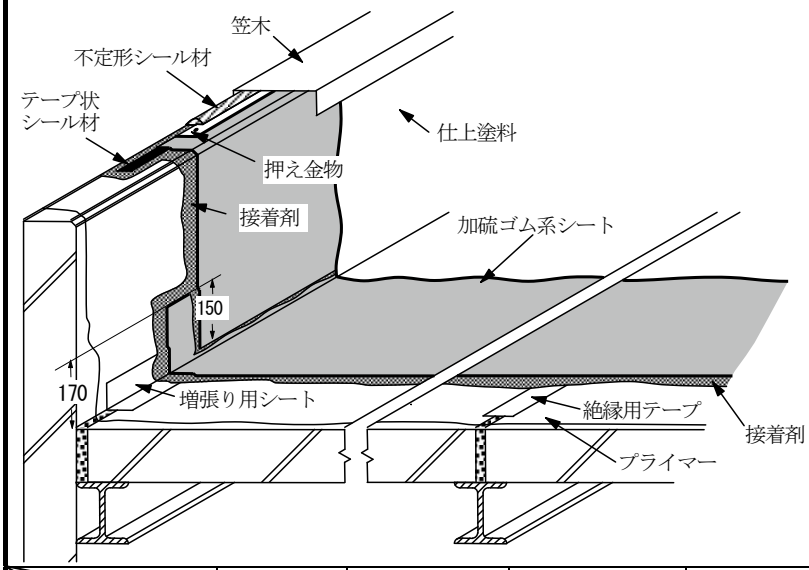
(1)RV-F201, RN-F201は軽舗装材を塗布する（※工程表参照）。

(2)パラペットに笠木を用いる場合はRV-F102, RN-F102を参照（以下同）。

工程		1	2	3	4	4※
材料 工法	屋根 勾配	プライマー (kg/㎡)	接着剤 (kg/㎡)	シート (㎜)	仕上塗料 (kg/㎡)	軽舗装材 (kg/㎡)
RV-F101 RV-F201	1/100	0.2	0.4	1.2	0.25	0.8～1.5
RN-F101 RN-F201	以上	0.2	0.4	2.0	0.25	0.8～1.5

KRK工法番号	シート種別	工法の種類	適用下地	JASS 8	国土交通省
ＲＶ－Ｆ１０２	加硫ゴム系シート	露出接着	PCa, ALC	S-RF	S-F1

図番02



［備考］

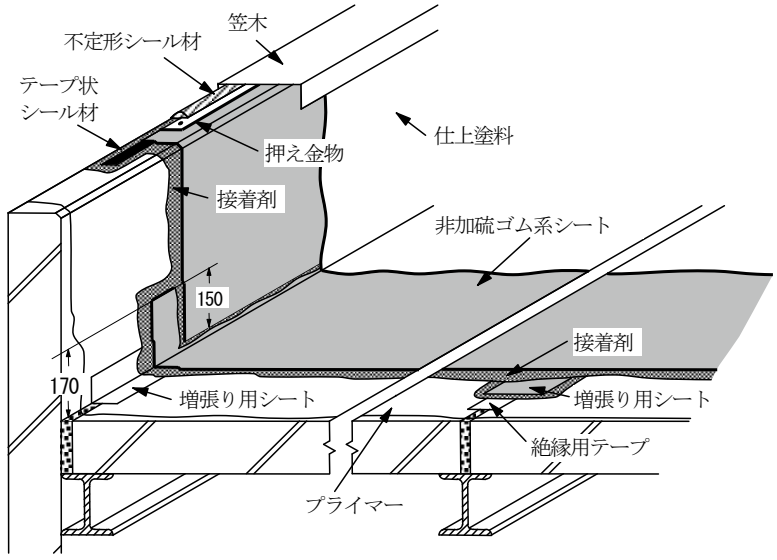
(1)下地調整材の適用、使用量及び下地調整材を処理した場合のプライマーの塗布はルーフィングシート製造所の工法による。

(2)PCa部材、ALCパネルの短辺接合部は絶縁用テープを張る。

工程		1※	2	3	4	5
材料 工法	屋根 勾配	下地調整材 (kg/㎡)	プライマー (kg/㎡)	接着剤 (kg/㎡)	シート (㎜)	仕上塗料 (kg/㎡)
ＲＶ－Ｆ１０２	1/100以上	0.3～1.2	0.3	0.4	1.2	0.25

KRK工法番号	シート種別	工法の種類	適用下地	JASS 8	国土交通省
ＲＮ－Ｆ１０２	非加硫ゴム系シート	露出接着	PCa，ALC	参考仕様(ロ)	－

図番03



［備考］

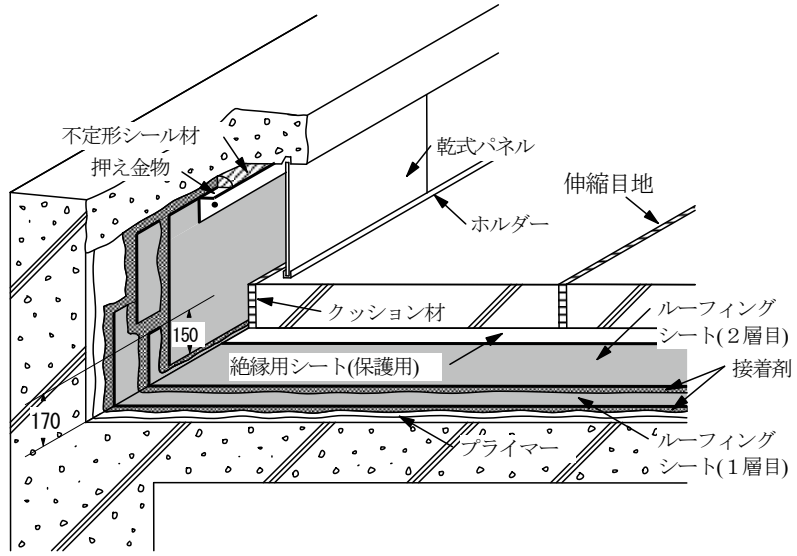
(1)ALCパネルの短辺接合部は絶縁用テープを張り、さらに増張り用シートを張る（図番34を参照）。

(2)ALCパネルの長辺接合部は絶縁用テープのみとする。

工程 / 材料 / 工法		1	2	3	4	5
	屋根勾配	下地調整材 (kg/㎡)	プライマー (kg/㎡)	接着剤 (kg/㎡)	シート (㎜)	仕上塗料 (kg/㎡)
ＲＮ－Ｆ１０２	1/100以上	0.3～1.2	0.3	0.4	2.0	0.25

KRK工法番号	シート種別	工法の種類	適用下地	JASS 8	国土交通省
ＲＶ－Ｆ３０１Ｗ	加硫ゴム系シート	保護二層接着	RC	－	－
ＲＮ－Ｆ３０１Ｗ	非加硫ゴム系シート				

図番04



［備考］

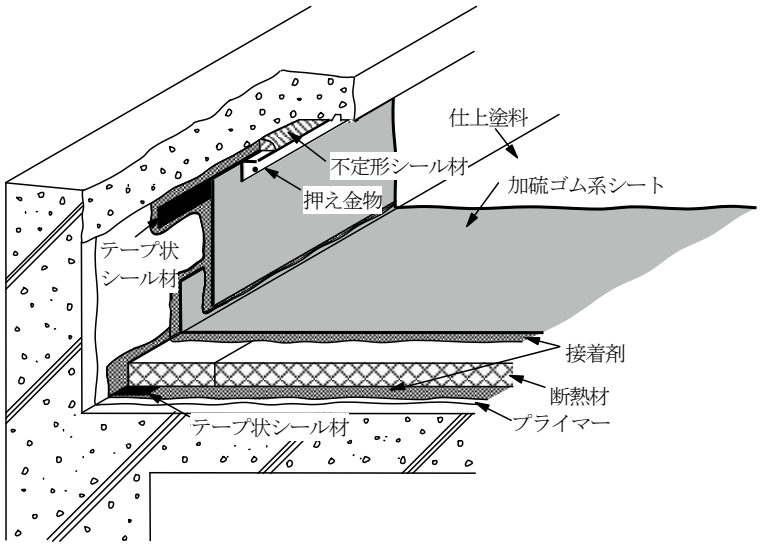
(1)ルーフィングシートは加硫ゴム系シート又は非加硫ゴム系シートの同種、あるいは異種2層の組合せとする。

(2)立上り面のシートを露出する場合は仕上塗料を塗布する。

工程 / 材料 / 工法		1	2	3	4	5	6
	屋根勾配	プライマー (kg/㎡)	接着剤 (kg/㎡)	シート (㎜)	接着剤 (kg/㎡)	シート (㎜)	絶縁用シート (㎡/㎡)
ＲＶ－Ｆ３０１Ｗ	1/100以上	0.2	0.4	1.0	0.4	1.0	1.1
ＲＮ－Ｆ３０１Ｗ		0.2	0.4	1.5	0.4	1.5	1.1

KRK工法番号	シート種別	工法の種類	適用下地	JASS 8	国土交通省
RV－F401	加硫ゴム系シート	露出断熱接着	RC, PCa, ALC	S-RFT	SI-F1

図番05

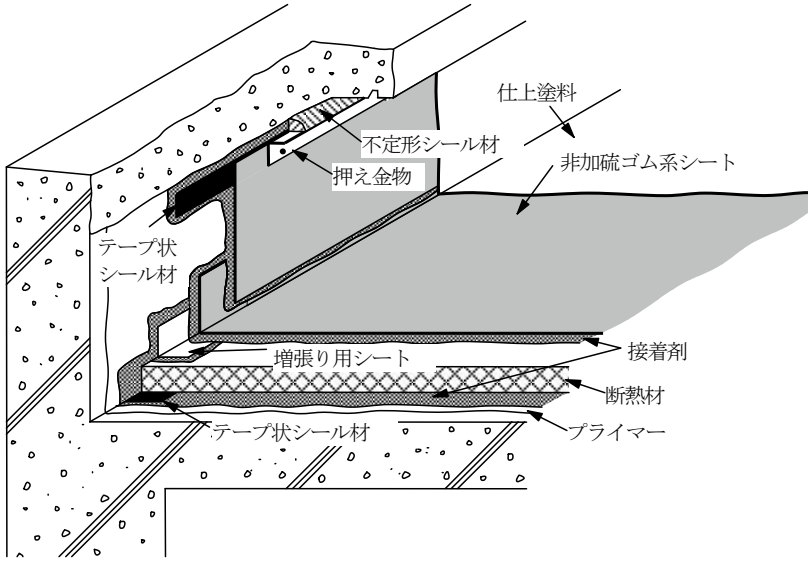


［備考］
断熱材はポリエチレンフォームを用いる。

工法＼材料＼工程		1	2	3	4	5	6
	屋根勾配	プライマー (kg/m²)	接着剤 (kg/m²)	断熱材 (m²/m²)	接着剤 (kg/m²)	シート (mm)	仕上塗料 (kg/m²)
RV－F401	1/100以上	0.2	0.4	1.0	0.4	1.2	0.25

KRK工法番号	シート種別	工法の種類	適用下地	JASS 8	国土交通省
RN－F401	非加硫ゴム系シート	露出断熱接着	RC, PCa, ALC	参考仕様(ロ)	－

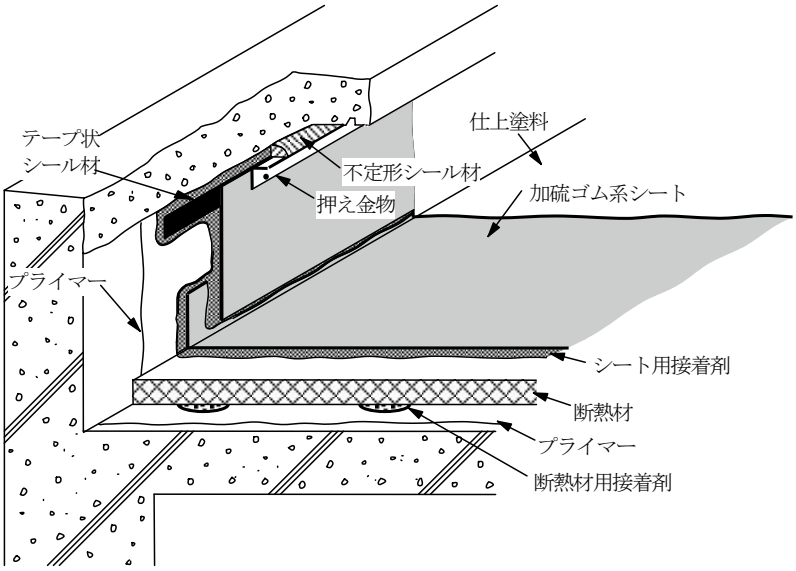
図番06



工法＼材料＼工程		1	2	3	4	5	6
	屋根勾配	プライマー (kg/m²)	接着剤 (kg/m²)	断熱材 (m²/m²)	接着剤 (kg/m²)	シート (mm)	仕上塗料 (kg/m²)
RN－F401	1/100以上	0.2	0.4	1.0	0.4	2.0	0.25

KRK工法番号	シート種別	工法の種類	適用下地	JASS 8	国土交通省
RV－F401S	加硫ゴム系シート	露出断熱接着	RC，PCa，ALC	－	－

図番07

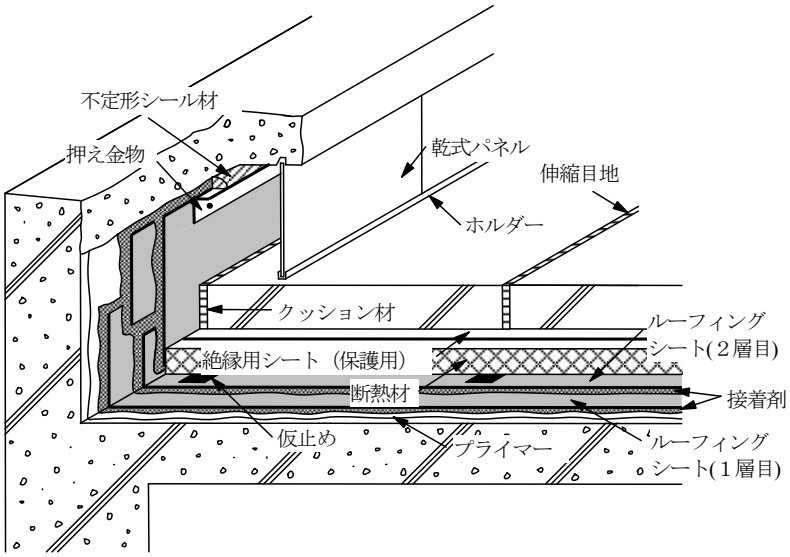


［備考］
(1)断熱材は接着工法用のポリスチレンフォーム又は硬質ポリウレタンフォームを用いる。
(2)工程4の接着剤の塗布材料は、下地面のみとする。
(3)シートは裏面にあらかじめ接着剤を塗布したシートとする。

工程 / 材料 / 工法		1	2	3	4	5	6
	屋根勾配	プライマー (kg/㎡)	接着剤 (kg/㎡)	断熱材 (㎡/㎡)	接着剤 (kg/㎡)	シート (㎜)	仕上塗料 (kg/㎡)
RV－F401S	1/100以上	0.2	0.4～1.0	1.0	0.15～0.25	1.2	0.3

KRK工法番号	シート種別	工法の種類	適用下地	JASS 8	国土交通省
RV-F501DW	加硫ゴム系シート	保護断熱二層接着D	RC	－	－
RN-F501DW	非加硫ゴム系シート				

図番08

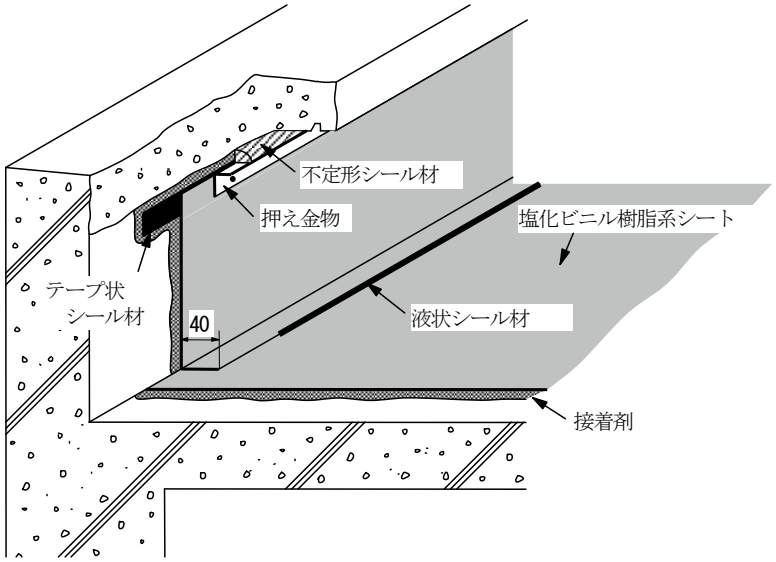


［備考］
(1)ルーフィングシートは加硫ゴム系シート又は非加硫ゴム系シートの同種、あるいは異種2層の組合せとする。
(2)断熱材はポリスチレンフォームを用いる。
(3)立上り面のシートを露出する場合は仕上塗料を塗布する

工程 / 材料 / 工法		1	2	3	4	5	6	7
	屋根勾配	プライマー (kg/㎡)	接着剤 (kg/㎡)	シート (㎜)	接着剤 (kg/㎡)	シート (㎜)	断熱材 (㎡/㎡)	絶縁用シート (㎡/㎡)
RV－F501DW	1/100以上	0.2	0.4	1.0	0.4	1.0	1.0	1.1
RN－F501DW		0.2	0.4	1.5	0.4	1.5	1.0	1.1

KRK工法番号	シート種別	工法の種類	適用下地	JASS 8	国土交通省
ＲＰ－Ｆ１０１ ＲＰ－Ｆ２０１	塩化ビニル樹脂系シート	露出接着 軽歩行接着	RC	S-PF	S-F2

図番09

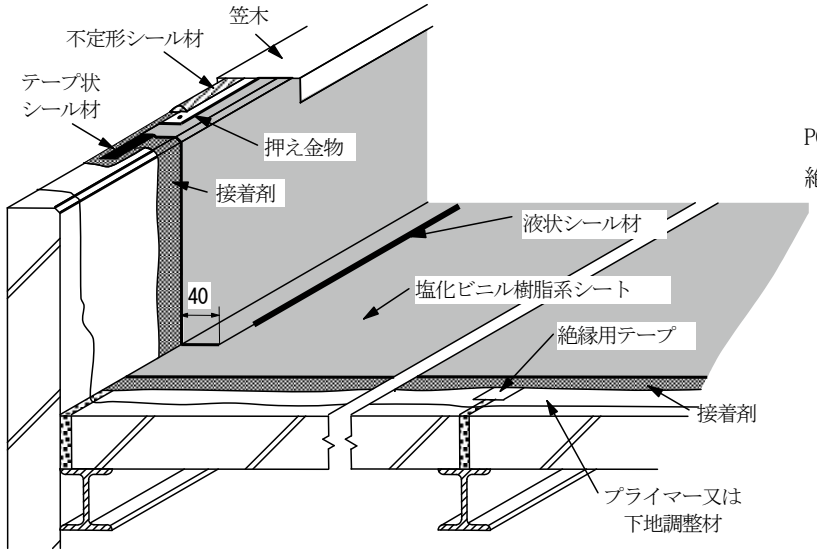


［備考］
(1)パラペットに笠木を用いる場合はRP-F102を参照。

工程		1	2	－	－	－
材料 工法	屋根 勾配	接着剤 (kg/㎡)	シート (㎜)	－	－	－
ＲＰ－Ｆ１０１	1/100以上	0.4	1.5	－	－	－
ＲＰ－Ｆ２０１		0.4	2.0	－		

KRK工法番号	シート種別	工法の種類	適用下地	JASS 8	国土交通省
ＲＰ－Ｆ１０２	塩化ビニル樹脂系シート	露出接着	PCa，ALC	S-PF	S-F2

図番10

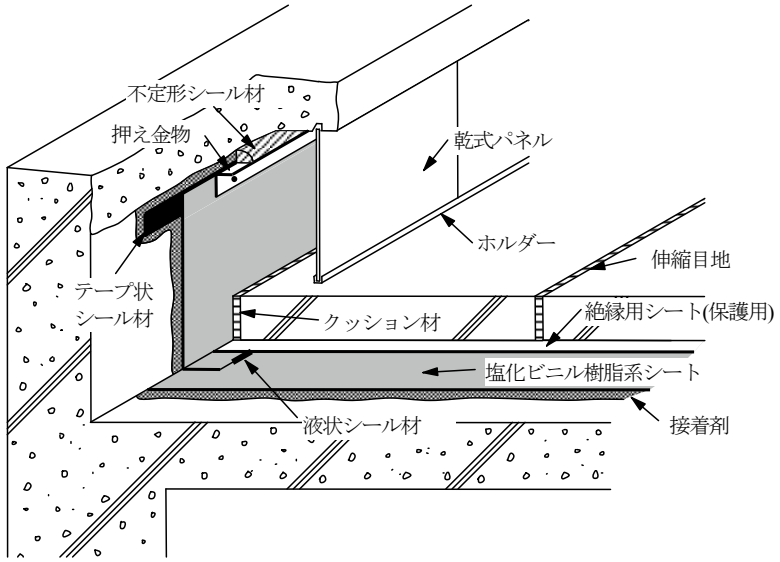


［備考］
PCa部材、ALCパネルの短辺接合部は絶縁用テープを張る。

工程		1	2	3	4	－
材料 工法	屋根 勾配	下地調整材 (kg/㎡)	プライマー (kg/㎡)	接着剤 (kg/㎡)	シート (㎜)	－
ＲＰ－Ｆ１０２	1/100以上	0.15～0.7	0.3	0.4	1.5	－

KRK工法番号	シート種別	工法の種類	適用下地	JASS 8	国土交通省
ＲＰ－Ｆ３０１	塩化ビニル樹脂系シート	保護接着	RC	－	－

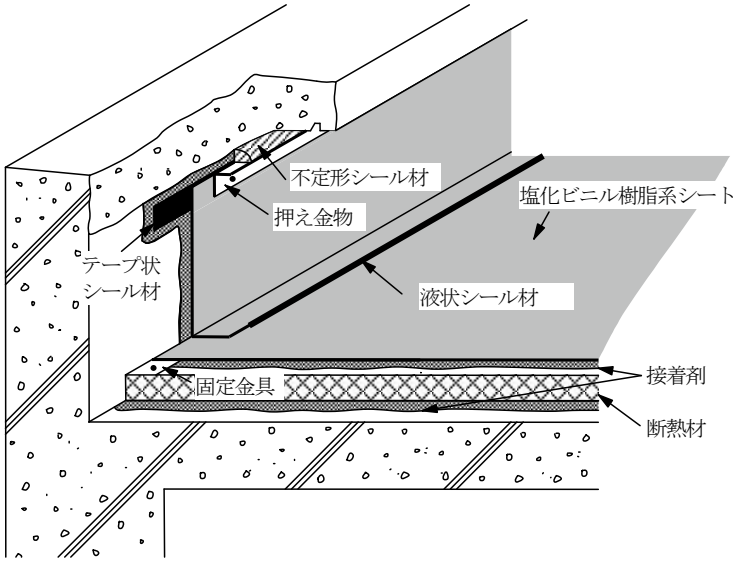
図番 11



工程		1	2	3	－	－
材料 / 工法	屋根勾配	接着剤 (kg/㎡)	シート (㎜)	絶縁用シート (㎡/㎡)	－	－
ＲＰ－Ｆ３０１	1/100以上	0.4	1.5	1.1	－	－

KRK工法番号	シート種別	工法の種類	適用下地	JASS 8	国土交通省
ＲＰ－Ｆ４０１	塩化ビニル樹脂系シート	露出断熱接着	RC,PCa,ALC	S-PFT	SI-F2

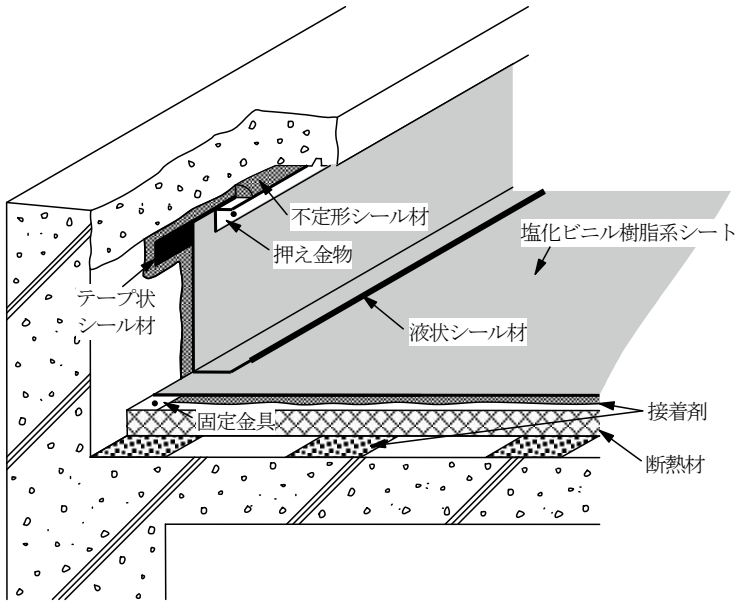
図番 12



工程		1	2	3	4	－
材料 / 工法	屋根勾配	接着剤 (kg/㎡)	断熱材 (㎡/㎡)	接着剤 (kg/㎡)	シート (㎜)	－
ＲＰ－Ｆ３０１	1/100以上	0.4	1.0	0.4	1.5	－

KRK工法番号	シート種別	工法の種類	適用下地	JASS 8	国土交通省
RP-F401S	塩化ビニル樹脂系シート	露出断熱接着	RC,PCa,ALC	S-PFT	SI-F2

図番13

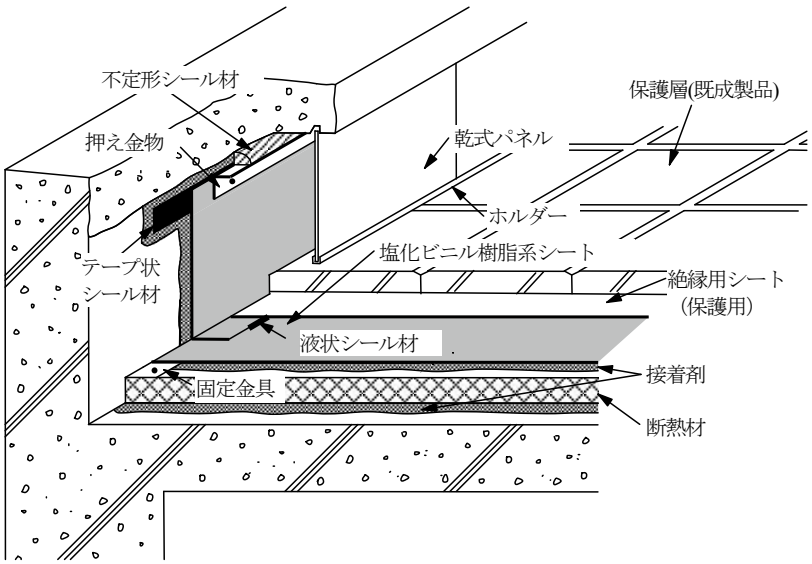


［備考］
(1) 断熱材は接着工法用の硬質ポリウレタンフォームを用いる。
(2) 工程1の接着剤の塗布方法はルーフィングシート製造所の工法による。

工程		1	2	3	4	―
材料 / 工法	屋根勾配	接着剤 (kg/㎡)	断熱材 (㎡/㎡)	接着剤 (kg/㎡)	シート (㎜)	―
RP-F401U	1/100以上	0.45	1.0	0.4	1.5	―

KRK工法番号	シート種別	工法の種類	適用下地	JASS 8	国土交通省
RP-F501	塩化ビニル樹脂系シート	保護断熱接着	RC	―	―

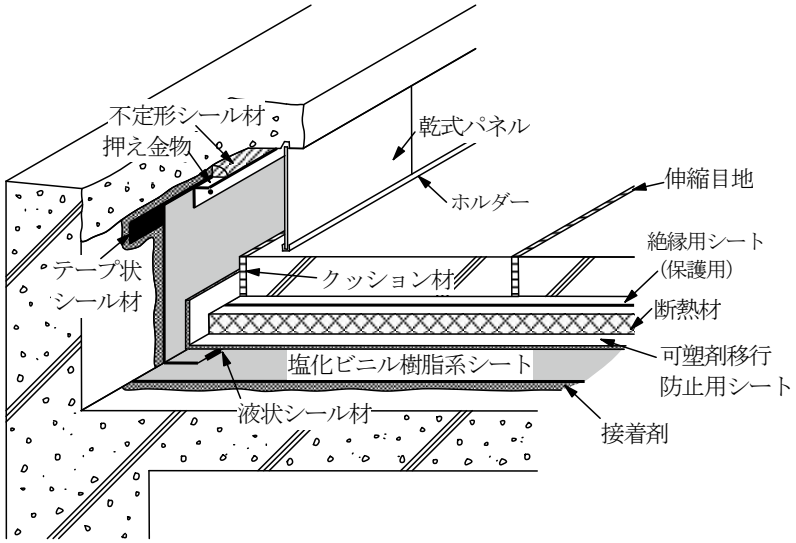
図番14



工程		1	2	3	4	5
材料 / 工法	屋根勾配	接着剤 (kg/㎡)	断熱材 (㎡/㎡)	接着剤 (kg/㎡)	シート (㎜)	絶縁用シート (㎡/㎡)
RP-F301	1/100以上	0.4	1.0	0.4	1.5	1.1

KRK工法番号	シート種別	工法の種類	適用下地	JASS 8	国土交通省
ＲＰ－Ｆ５０１Ｄ	塩化ビニル樹脂系シート	保護断熱接着D	RC	－	－

図番15

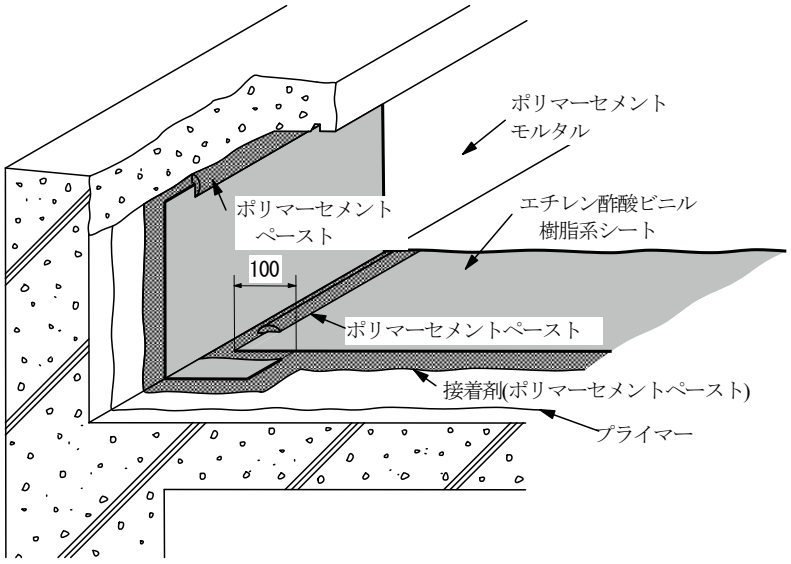


［備考］
(1)断熱材はポリスチレンフォームを用いる。
(2)面材付断熱材の場合は可塑剤移行防止用シート不要。

工程 / 材料 / 工法		1	2	3	4	5
	屋根勾配	接着剤 (kg/m²)	シート (mm)	可塑剤移行防止用シート(m²/m²)	断熱材 (m²/m²)	絶縁用シート (m²/m²)
ＲＰ－Ｆ５０１Ｄ	1/100以上	0.4	1.5	1.1	1.0	1.1

KRK工法番号	シート種別	工法の種類	適用下地	JASS 8	国土交通省
ＲＥ－Ｆ１０１	エチレン酢酸ビニル	露出接着	RC	S-PC	－
ＲＥ－Ｆ２０１	樹脂系シート	軽歩行接着			

図番16

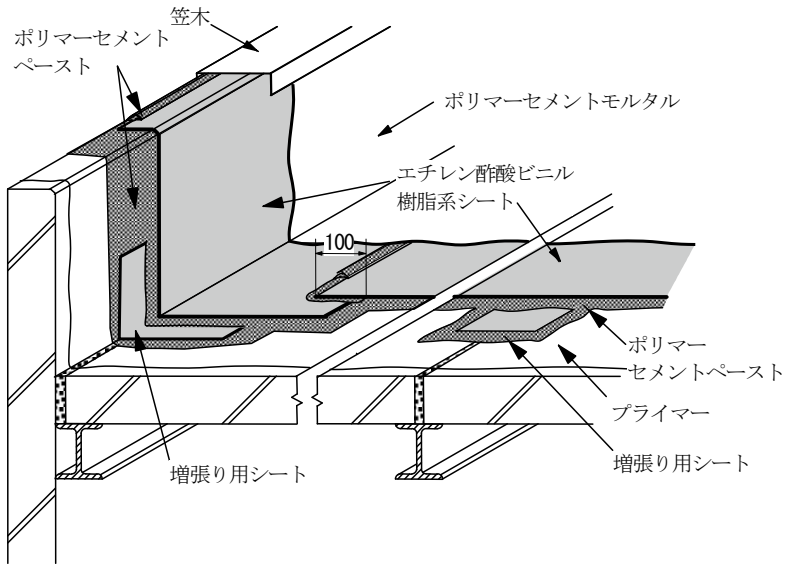


［備考］
(1)パラペットに笠木を用いる場合はRE-F102を参照。

工程 / 材料 / 工法		1	2	3	4	－
	屋根勾配	プライマー (kg/m²)	接着剤 (kg/m²)	シート (mm)	ﾎﾟﾘﾏｰｾﾒﾝﾄﾓﾙﾀﾙ(kg/m²)	－
ＲＥ－Ｆ１０１	1/100以上	0.3	5.0	1.0	7.0	－
ＲＥ－Ｆ２０１		0.3	5.0	1.0	8.0	

KRK工法番号	シート種別	工法の種類	適用下地	JASS 8	国土交通省
ＲＥ－Ｆ１０２	エチレン酢酸ビニル樹脂系シート	露出接着	PCa, ALC	S-PC	－

図番17

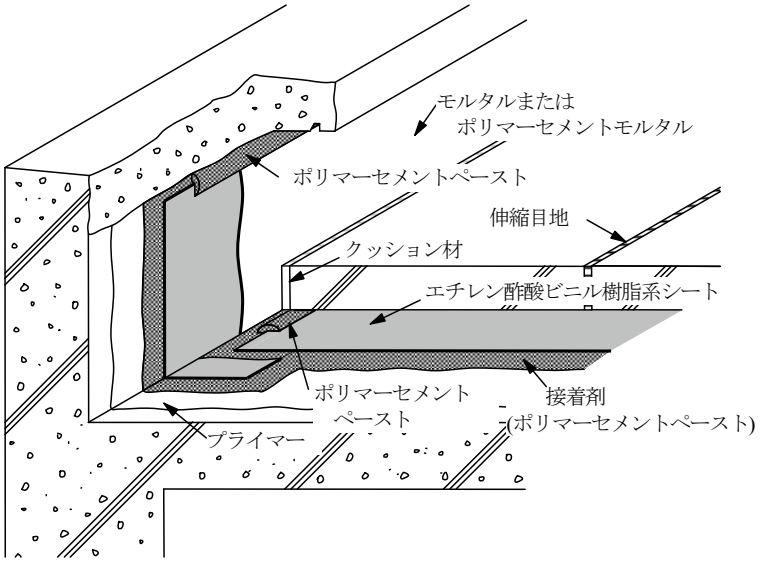


［備考］
(1)ALCパネルの短辺接合部及びPCa部材の継目部は同質シートを増張りする。

工程		1	2	3	4	－
材料 / 工法	屋根勾配	プライマー (kg/m²)	接着剤 (kg/m²)	シート (mm)	ポリマーセメントモルタル(kg/m²)	－
ＲＥ－Ｆ１０２	1/100以上	0.3	5.0	1.0	7.0	－

KRK工法番号	シート種別	工法の種類	適用下地	JASS 8	国土交通省
ＲＥ－Ｆ３０１	エチレン酢酸ビニル樹脂系シート	保護接着	RC	参考仕様（ホ）	－

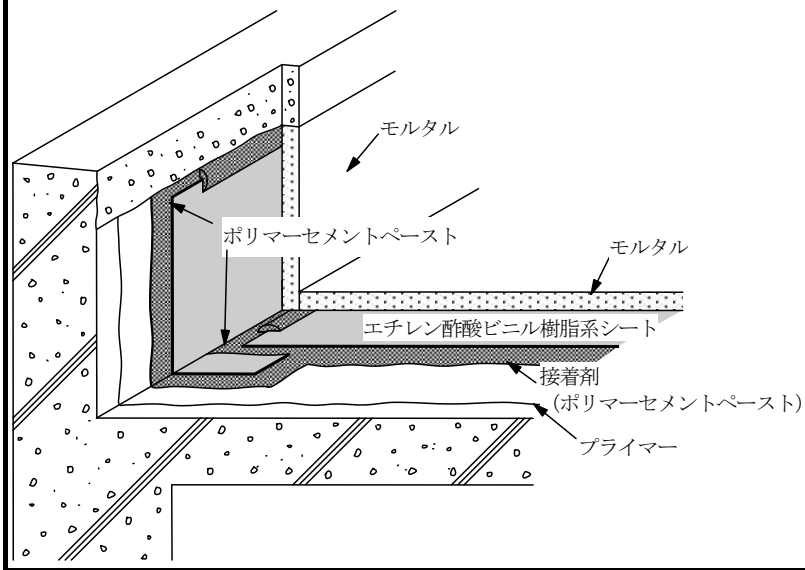
図番18-1



工程		1	2	3	－	－
材料 / 工法	屋根勾配	プライマー (kg/m²)	接着剤 (kg/m²)	シート (mm)	－	－
ＲＥ－Ｆ３０１	1/100以上	0.3	5.0	1.0	－	－

KRK工法番号	シート種別	工法の種類	適用下地	JASS 8	国土交通省
ＲＥ－Ｆ３０１	エチレン酢酸ビニル樹脂系シート	屋内保護密着工法	RC	―	S-C1

図番 18-2



［備考］

(1) Ｓ－Ｃ１仕様については、屋内防水に適用する。

(2) 工程４のモルタルの塗り厚さは、特記による。

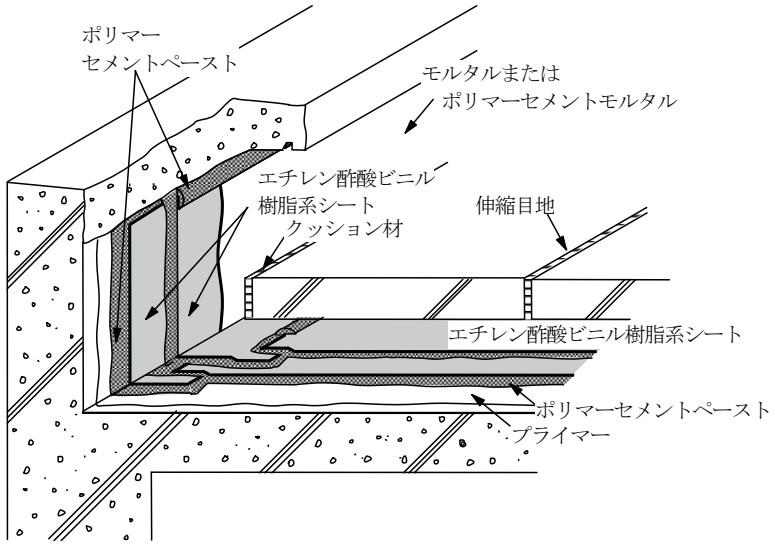
(3) 保護モルタル・タイルによる仕上げは特記による。

(4) 「監理指針」・「改修監理指針」での種別選定の目安は、地下室、便所、湯沸室などである。

工程 / 材料 / 工法		1	2	3	4
	屋内	プライマー (kg/㎡)	接着剤 (kg/㎡)	シート (㎜)	モルタル
ＲＥ－Ｆ３０１	―	0.3	5.0	1.0	―

KRK工法番号	シート種別	工法の種類	適用下地	JASS 8	国土交通省
ＲＥ－Ｆ３０１Ｗ	エチレン酢酸ビニル樹脂系シート	保護二層接着	RC	―	―

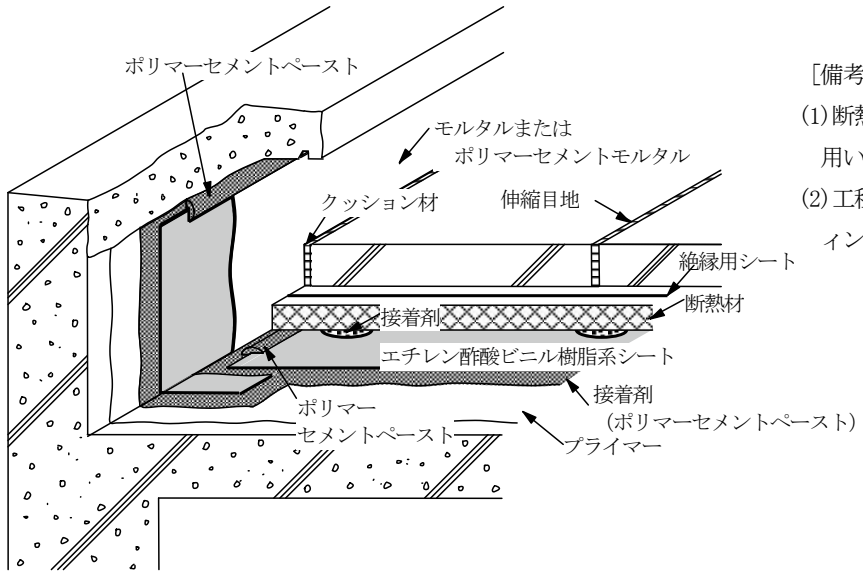
図番 19



工程 / 材料 / 工法		1	2	3	4	5
	屋根勾配	プライマー (kg/㎡)	接着剤 (kg/㎡)	シート (㎜)	接着剤 (kg/㎡)	シート (㎜)
ＲＥ－Ｆ３０１	1/100以上	0.3	5.0	1.0	5.0	1.0

KRK工法番号	シート種別	工法の種類	適用下地	JASS 8	国土交通省
RE－F501D	エチレン酢酸ビニル樹脂系シート	保護断熱接着D	RC	参考仕様（ホ）	－

図番20



［備考］

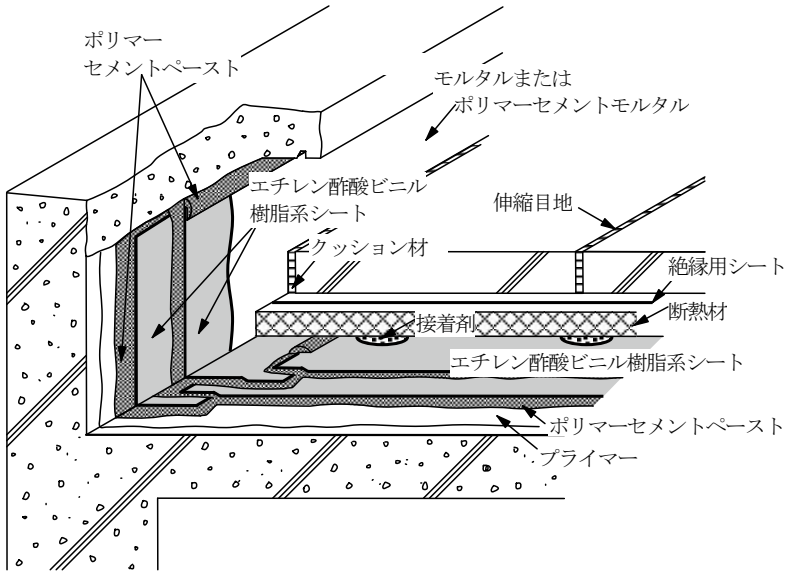
(1)断熱材はポリスチレンフォームを用いる。

(2)工程4の接着剤の塗布方法はルーフィングシート製造所の工法による。

工程 / 材料 / 工法		1	2	3	4	5	6
	屋根勾配	プライマー (kg/㎡)	接着剤 (kg/㎡)	シート (㎜)	接着剤 (kg/㎡)	断熱材 (㎡/㎡)	絶縁用シート (㎡/㎡)
ＲＥ－Ｆ５０１Ｄ	1/100以上	0.3	5.0	1.0	0.3	1.0	1.1

KRK工法番号	シート種別	工法の種類	適用下地	JASS 8	国土交通省
RE-F501DW	エチレン酢酸ビニル樹脂系シート	保護断熱二層接着D	RC	－	－

図番21



［備考］

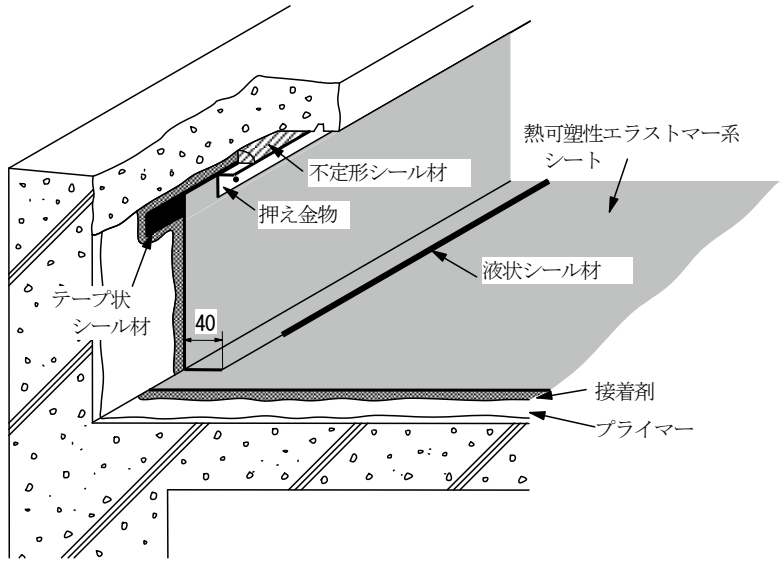
(1)断熱材はポリスチレンフォームを用いる。

(2)工程4の接着剤の塗布方法はルーフィングシート製造所の工法による。

工程 / 材料 / 工法		1	2	3	4	5	6	7	8
	屋根勾配	プライマー (kg/㎡)	接着剤 (kg/㎡)	シート (㎜)	接着剤 (kg/㎡)	シート (㎜)	接着剤 (kg/㎡)	断熱材 (㎡/㎡)	絶縁用シート (㎡/㎡)
RE-F501WD	1/100以上	0.3	5.0	1.0	5.0	1.0	0.3	1.0	1.1

KRK工法番号	シート種別	工法の種類	適用下地	JASS 8	国土交通省
ＲＴ－Ｆ１０１	熱可塑性エラストマー系シート	露出接着	RC	－	－
ＲＴ－Ｆ２０１		軽歩行接着		－	

図番22

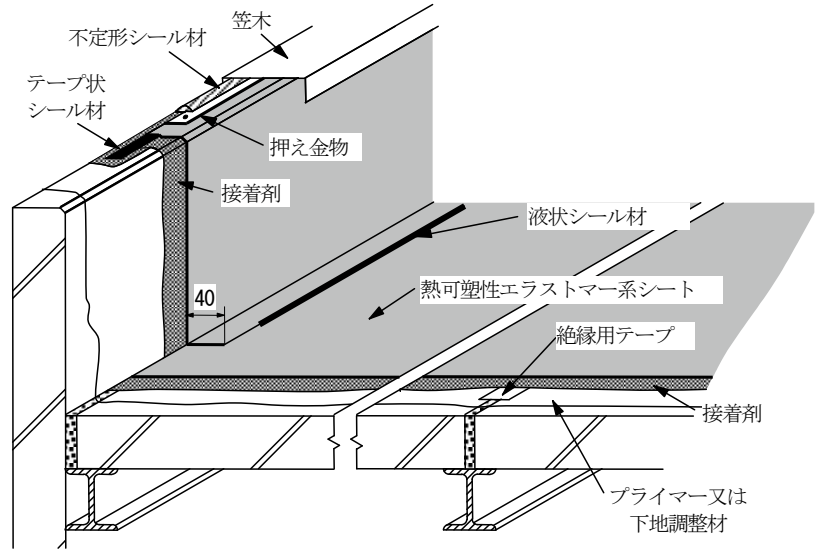


［備考］
(1)パラペットに笠木を用いる場合はRT-F102を参照。

工法＼材料＼工程		1	2	3	－	－
	屋根勾配	プライマー (kg/㎡)	接着剤 (kg/㎡)	シート (㎜)	－	－
ＲＴ－Ｆ１０１	1/100以上	0.2	0.4	1.2	－	－
ＲＴ－Ｆ２０１	1/100以上	0.2	0.4	1.5	－	－

KRK工法番号	シート種別	工法の種類	適用下地	JASS 8	国土交通省
ＲＴ－Ｆ１０２	熱可塑性エラストマー系シート	露出接着	PCa，ALC	－	－

図番23

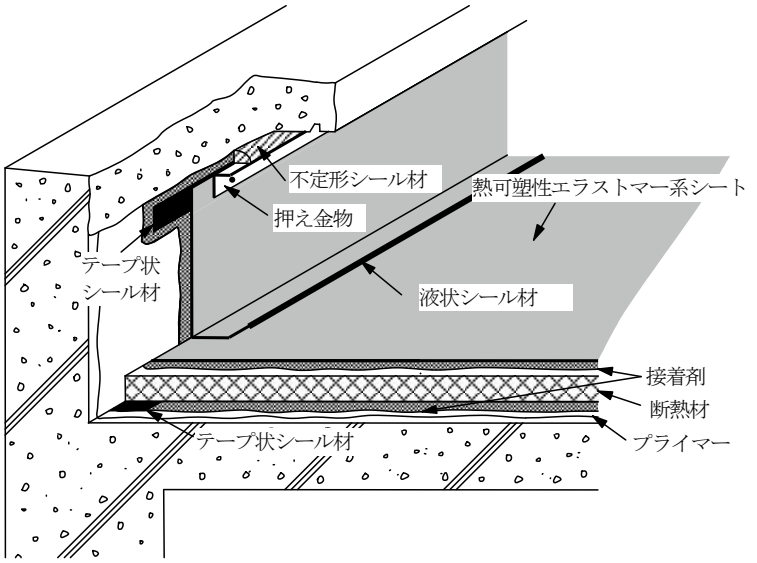


［備考］
PCa部材、ALCパネルの短辺接合部は絶縁用テープを張る。

工法＼材料＼工程		1	2	3	4	－
	屋根勾配	下地調整材 (kg/㎡)	プライマー (kg/㎡)	接着剤 (kg/㎡)	シート (㎜)	－
ＲＴ－Ｆ１０２	1/100以上	0.3～1.2	0.2	0.4	1.2	－

KRK工法番号	シート種別	工法の種類	適用下地	JASS 8	国土交通省
ＲＴ－Ｆ４０１	熱可塑性エラストマー系シート	露出断熱接着	RC,PCa,ALC	参考仕様(ﾚ)	－

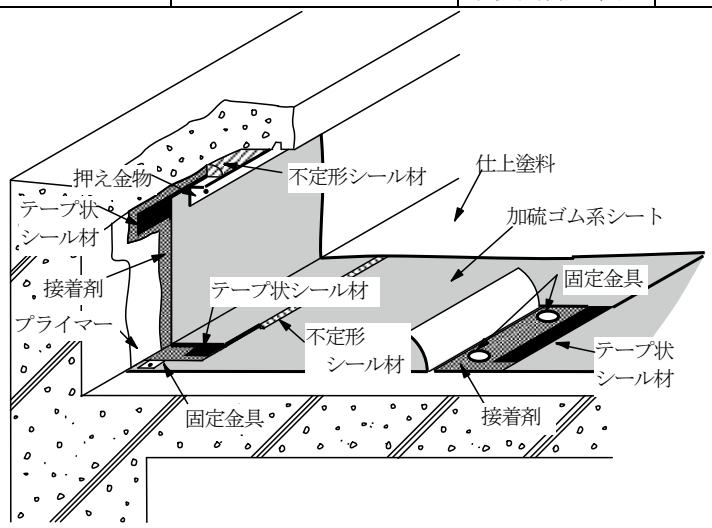
図番24



工法＼材料＼工程		1	2	3	4	5
	屋根勾配	プライマー (kg/㎡)	接着剤 (kg/㎡)	断熱材 (㎡/㎡)	接着剤 (kg/㎡)	シート (㎜)
ＲＴ－Ｆ４０１	1/100以上	0.2	0.4	1.0	0.4	1.2

KRK工法番号	シート種別	工法の種類	適用下地	JASS 8	国土交通省
ＲＶ－Ｍ１０１	加硫ゴム系シート	露出機械的固定	RC,PCa	S-RM	S-M1
ＲＶ－Ｍ２０１		軽歩行機械的固定		－	－

図番25



［備考］

(1)シートの固定方法はルーフィングシート製造所の工法による。

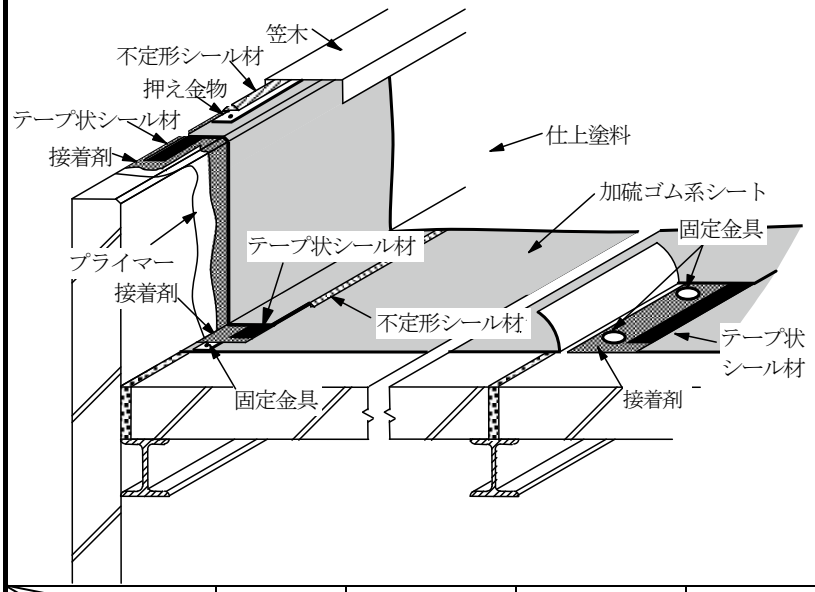
(2)立上り部を接着する場合のシートの納まりはRV-F101を参照。

(3)改修工事においてはルーフィングシートの敷設に先だち絶縁用シートを敷設する。

工法＼材料＼工程		1	2	3	4	－
	屋根勾配	絶縁用シート (㎡/㎡)	固定金具 (個/㎡)	シート (㎜)	仕上塗料 (kg/㎡)	－
ＲＶ－Ｍ１０１	1/100以上	1.1	1.1～2.8	1.5	0.25	－
ＲＶ－Ｍ２０１		1.1	1.1～2.8	1.5	1.5～3.0	－

KRK工法番号	シート種別	工法の種類	適用下地	JASS 8	国土交通省
ＲＶ－Ｍ１０２	加硫ゴム系シート	露出 機械的固定	ALC	S-RM	－

図番26

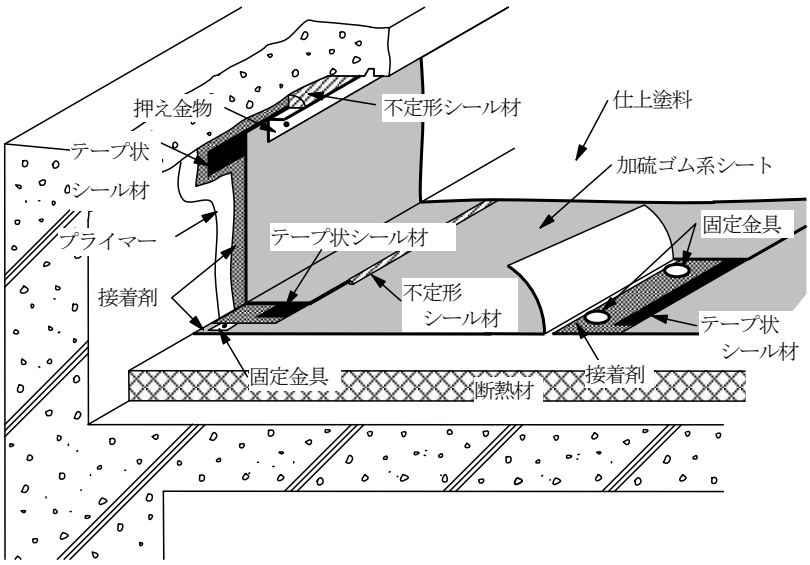


［備考］
(1)シートの固定方法はルーフィングシート製造所の工法による。
(2)立上り部を接着する場合のシートの納まりはRV-F102を参照。
(3)改修工事においてはルーフィングシートの敷設に先だち絶縁用シートを敷設する。

工程		1	2	3	4	－
材料 工法	屋根 勾配	絶縁用シート (㎡/㎡)	固定金具 (個/㎡)	シート (㎜)	仕上塗料 (kg/㎡)	－
ＲＶ－Ｍ１０２	1/100以上	1.1	1.1～2.8	1.5	0.25	－

KRK工法番号	シート種別	工法の種類	適用下地	JASS 8	国土交通省
ＲＶ－Ｍ４０１	加硫ゴム系シート	露出断熱 機械的固定	RC,PCa,ALC	S-RMT	SI-M1

図番27

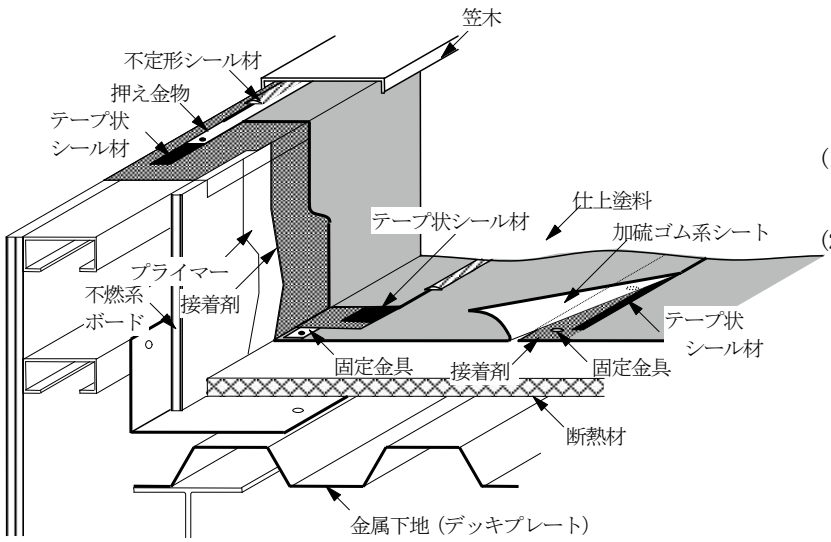


［備考］
(1)シートの固定方法はルーフィングシート製造所の工法による。
(2)立上り部を接着する場合のシートの納まりはRV-F101を参照。

工程		1	2	3	4	－
材料 工法	屋根 勾配	断熱材 (㎡/㎡)	固定金具 (個/㎡)	シート (㎜)	仕上塗料 (kg/㎡)	－
ＲＶ－Ｍ４０１	1/100 以上	1.0	1.1～2.8	1.5	0.25	－

KRK工法番号	シート種別	工法の種類	適用下地	JASS 8	国土交通省
RV－M403	加硫ゴム系シート	露出断熱 機械的固定	金 属	参考仕様(ノ)	－

図番28



［備考］

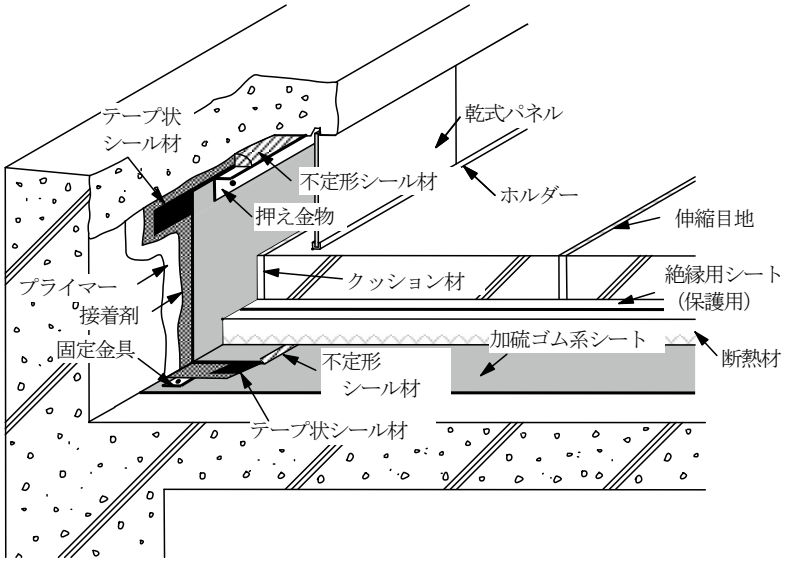
(1) シートの固定方法はルーフィングシート製造所の工法による。

(2) 立上り部を接着する場合のシートの納まりはRV-F101を参照。

工程		1	2	3	4	－
材料 工法	屋根 勾配	断熱材 (㎡/㎡)	固定金具 (個/㎡)	シート (㎜)	仕上塗料 (kg/㎡)	－
RV－M403	1/100以上	1.0	1.1～2.8	1.5	0.25	－

KRK工法番号	シート種別	工法の種類	適用下地	JASS 8	国土交通省
RV－M501D	加硫ゴム系シート	保護断熱 機械的固定D	RC	－	－

図番29



［備考］

(1) シートの固定方法はルーフィングシート製造所の工法による。

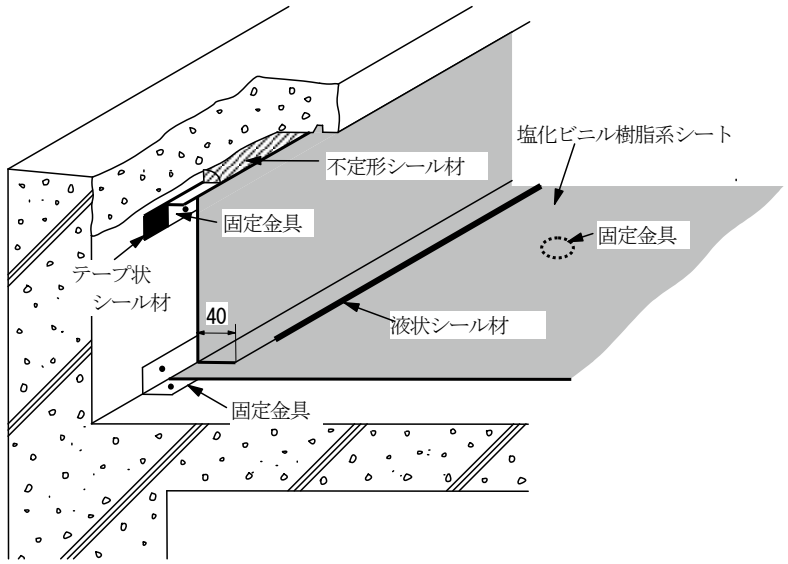
(2) 断熱材はポリスチレンフォームを用いる。

(3) 改修工事においてはルーフィングシートの敷設に先だち絶縁用シートを敷設する。

工程		1	2	3	4	5
材料 工法	屋根 勾配	絶縁用シート (㎡/㎡)	固定金具 (個/㎡)	シート (㎜)	断熱材 (㎡/㎡)	絶縁用シート (㎡/㎡)
RV－M501D	1/100以上	1.1	1.1～2.8	1.5	1.0	1.1

KRK工法番号	シート種別	工法の種類	適用下地	JASS 8	国土交通省
ＲＰ－Ｍ１０１ ＲＰ－Ｍ２０１	塩化ビニル樹脂系シート	露出機械的固定 軽歩行機械的固定	RC,PCa	S-PM	S-M2

図番30

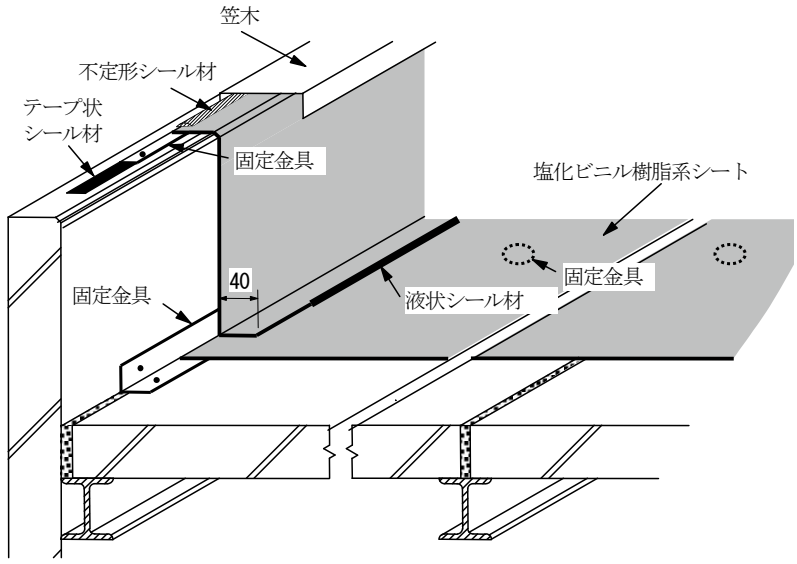


［備考］
(1) シートの固定方法はルーフィングシート製造所の工法による。
(2) 立上り部を接着する場合のシートの納まりはRP-F101を参照。

工程		1	2	－	－	－
材料 工法	屋根 勾配	固定金具 (個/㎡)	シート (㎜)	－	－	－
ＲＰ－Ｍ１０１	1/100 以上	1.1～2.8	1.5	－	－	－
ＲＰ－Ｍ２０１		1.1～2.8	2.0	－	－	－

KRK工法番号	シート種別	工法の種類	適用下地	JASS 8	国土交通省
ＲＰ－Ｍ１０２	塩化ビニル樹脂系シート	露出 機械的固定	ALC	S-PM	－

図番31

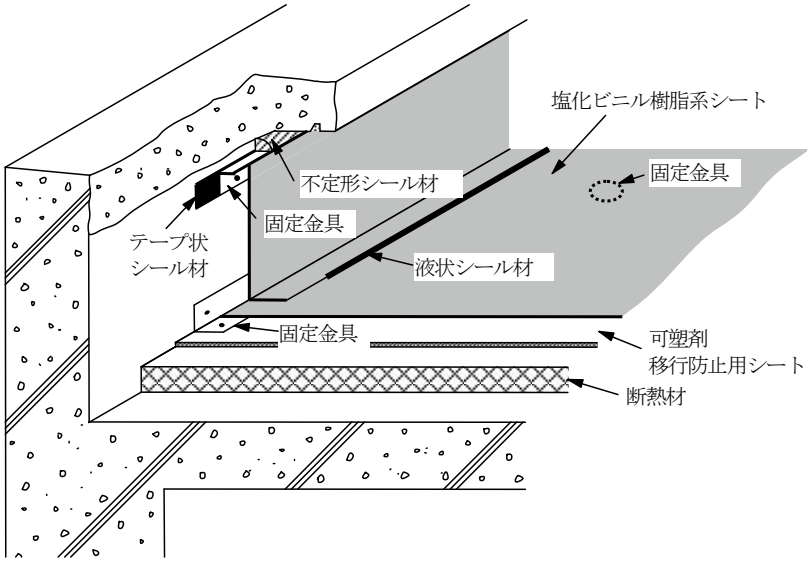


［備考］
(1) シートの固定方法はルーフィングシート製造所の工法による。
(2) 立上り部を接着する場合のシートの納まりはRP-F102を参照。
(3) 改修工事においてはルーフィングシートの敷設に先だち絶縁用シートを敷設する。

工程		1	2	3	－	－
材料 工法	屋根 勾配	絶縁用シート (㎡/㎡)	固定金具 (個/㎡)	シート (㎜)	－	－
ＲＰ－Ｍ１０２	1/100以上	1.1	1.1～2.8	1.5	－	－

KRK工法番号	シート種別	工法の種類	適用下地	JASS 8	国土交通省
ＲＰ－Ｍ４０１	塩化ビニル樹脂系シート	露出断熱 機械的固定	RC,PCa,ALC	S-PMT	SI-M2

図番32

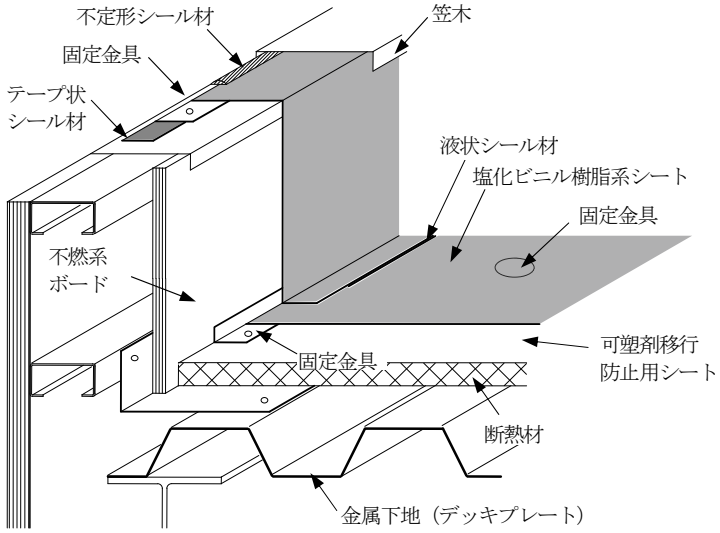


［備考］
(1) シートの固定方法はルーフィングシート製造所の工法による。
(2) 立上り部を接着する場合のシートの納まりはRP-F101を参照。
(3) 面材付断熱材の場合は可塑剤移行防止用シート不要。

工程		1	2	3	4	－
材料 工法	屋根 勾配	断熱材 (㎡/㎡)	可塑剤移行防止用 シート(㎡/㎡)	固定金具 (個/㎡)	シート (㎜)	－
ＲＰ－Ｍ４０１	1/100以上	1.0	1.1	1.1～2.8	1.5	－

KRK工法番号	シート種別	工法の種類	適用下地	JASS 8	国土交通省
ＲＰ－Ｍ４０３	塩化ビニル樹脂系シート	露出断熱 機械的固定	金 属	参考仕様(ノ)	－

図番33

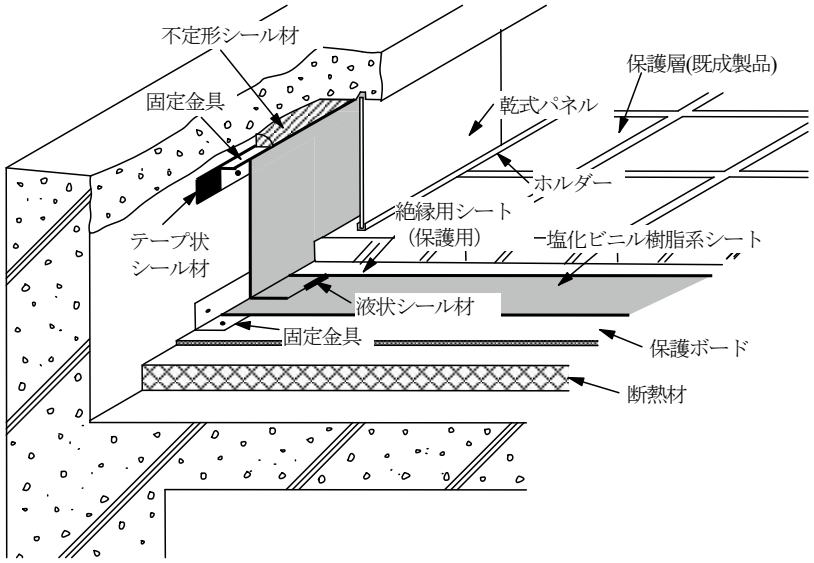


［備考］
(1) シートの固定方法はルーフィングシート製造所の工法による。
(2) 立上り部を接着する場合のシートの納まりはRP-F101を参照。
(3) 面材付断熱材の場合は可塑剤移行防止用シート不要。

工程		1	2	3	4	－
材料 工法	屋根 勾配	断熱材 (㎡/㎡)	可塑剤移行防止用 シート(㎡/㎡)	固定金具 (個/㎡)	シート (㎜)	－
ＲＰ－Ｍ４０３	1/100以上	1.0	1.1	1.1～2.8	1.5	－

KRK工法番号	シート種別	工法の種類	適用下地	JASS 8	国土交通省
ＲＰ－Ｍ５０１	塩化ビニル樹脂系シート	保護断熱 機械的固定	RC	－	－

図番34



［備考］

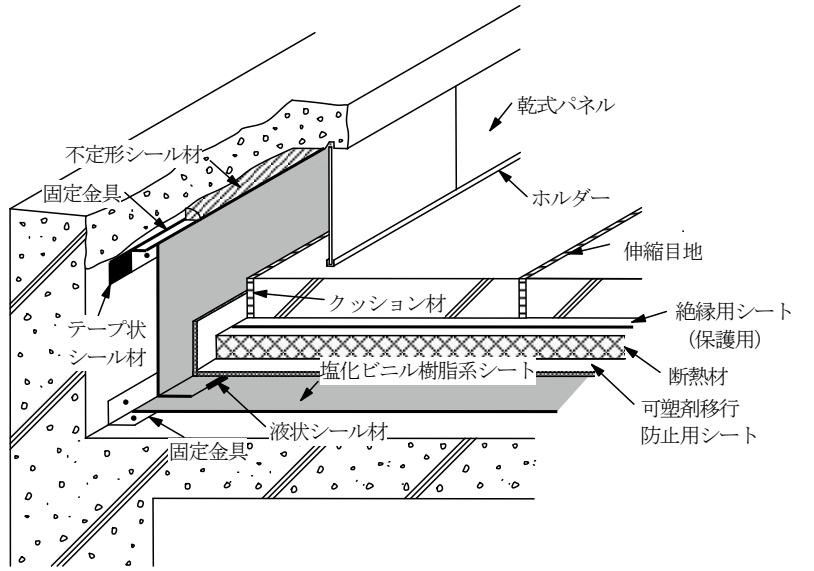
(1) シートの固定方法はルーフィングシート製造所の工法による。

(2) 立上り部を接着する場合のシートの納まりはRP-F101を参照。

工程		1	2	3	4	5
材料 工法	屋根 勾配	断熱材 (㎡/㎡)	可塑剤移行防止用 シート（㎡/㎡）	固定金具 (個/㎡)	シート (㎜)	絶縁用シート (㎡/㎡)
ＲＰ－Ｍ５０１	1/100以上	1.0	1.1	1.1～2.8	1.5	1.1

KRK工法番号	シート種別	工法の種類	適用下地	JASS 8	国土交通省
ＲＰ－Ｍ５０１Ｄ	塩化ビニル樹脂系シート	保護断熱 機械的固定D	RC	－	－

図番35



［備考］

(1) シートの固定方法はルーフィングシート製造所の工法による。

(2) 立上り部を接着する場合のシートの納まりはRP-F101を参照。

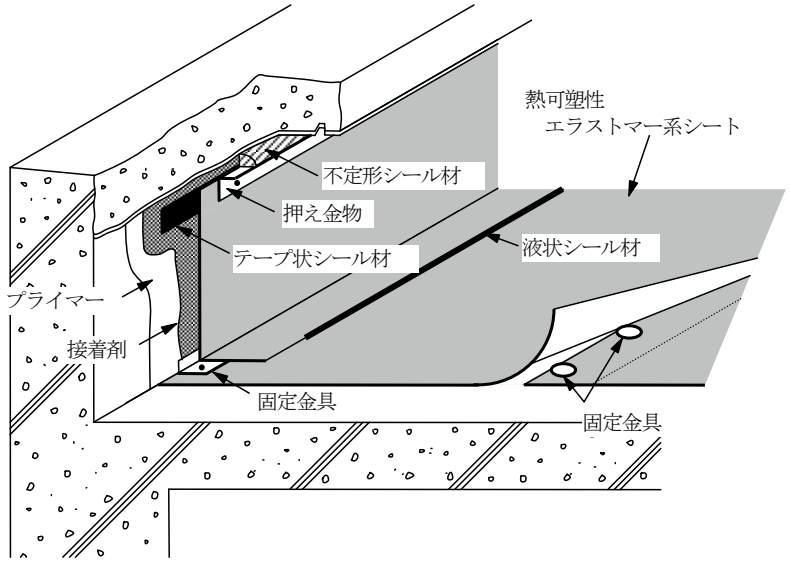
(3) 断熱材はポリスチレンフォームを用いる。

(4) 面材付断熱材の場合は可塑剤移行防止用シート不要。

工程		1	2	3	4	5
材料 工法	屋根 勾配	固定金具 (個/㎡)	シート (㎜)	可塑剤移行防止用 シート(㎡/㎡)	断熱材 (㎡/㎡)	絶縁用シート (㎡／㎡)
ＲＰ－Ｍ５０１Ｄ	1/100以上	1.1～2.8	1.5	1.1	1.1	1.1

RK工法番号	シート種別	工法の種類	適用下地	JASS 8	国土交通省
ＲＴ－Ｍ１０１	熱可塑性エラストマー系シート	露出機械的固定	RC, PCa	参考仕様(ﾚ)	S-M3
ＲＴ－Ｍ２０１		軽歩行機械的固定		－	－

図番36

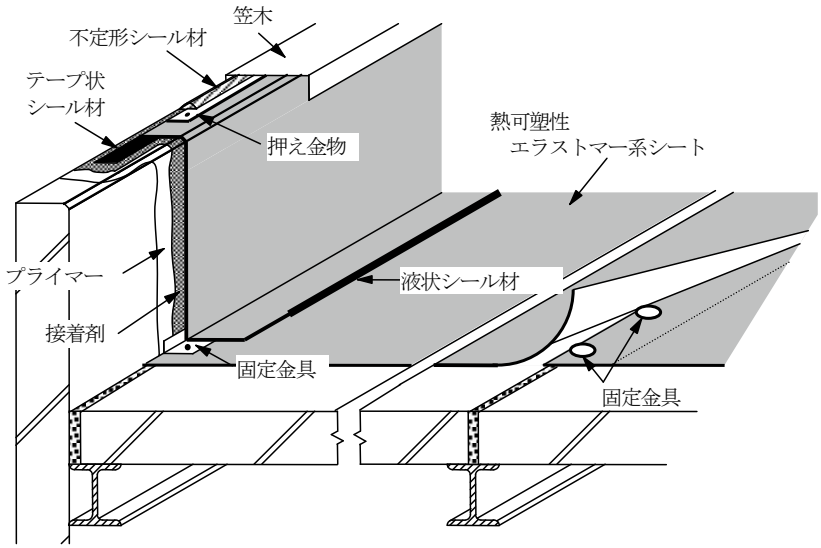


［備考］
(1) シートの固定方法はルーフィングシート製造所の工法による。
(2) 立上り部を接着する場合のシートの納まりはRT-F101を参照。
(3) 改修工事においてはルーフィングシートの敷設に先だち絶縁用シートを敷設する。

工程 / 材料 / 工法		1	2	3	－	－
	屋根勾配	絶縁用シート (㎡/㎡)	固定金具 (個/㎡)	シート (㎜)	－	－
ＲＴ－Ｍ１０１	1/100 以上	1.1	1.1～2.8	1.2	－	－
ＲＴ－Ｍ２０１	1/100 以上	1.1	1.1～2.8	1.5	－	－

KRK工法番号	シート種別	工法の種類	適用下地	JASS 8	国土交通省
ＲＴ－Ｍ１０２	熱可塑性エラストマー系シート	露出 機械的固定	ALC	参考仕様(ﾚ)	－

図番37

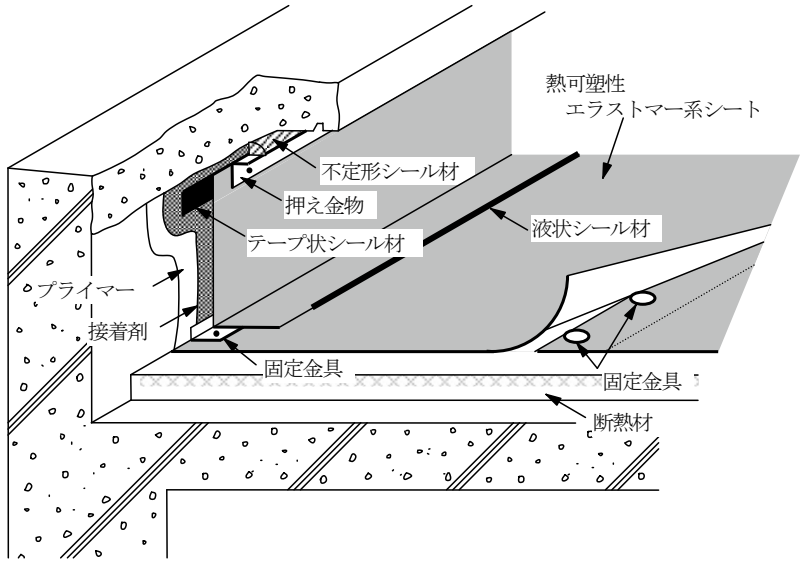


［備考］
(1) シートの固定方法はルーフィングシート製造所の工法による。
(2) 立上り部を接着する場合のシートの納まりはRT-F102を参照。
(3) 改修工事においてはルーフィングシートの敷設に先だち絶縁用シートを敷設する。

工程 / 材料 / 工法		1	2	3	－	－
	屋根勾配	絶縁用シート (㎡/㎡)	固定金具 (個/㎡)	シート (㎜)	－	－
ＲＴ－Ｍ１０２	1/100 以上	1.1	1.1～2.8	1.2	－	－

KRK工法番号	シート種別	工法の種類	適用下地	JASS 8	国土交通省
ＲＴ－Ｍ４０１	熱可塑性エラストマー系シート	露出断熱 機械的固定	RC,PCa,ALC	参考仕様(レ)	－

図番38

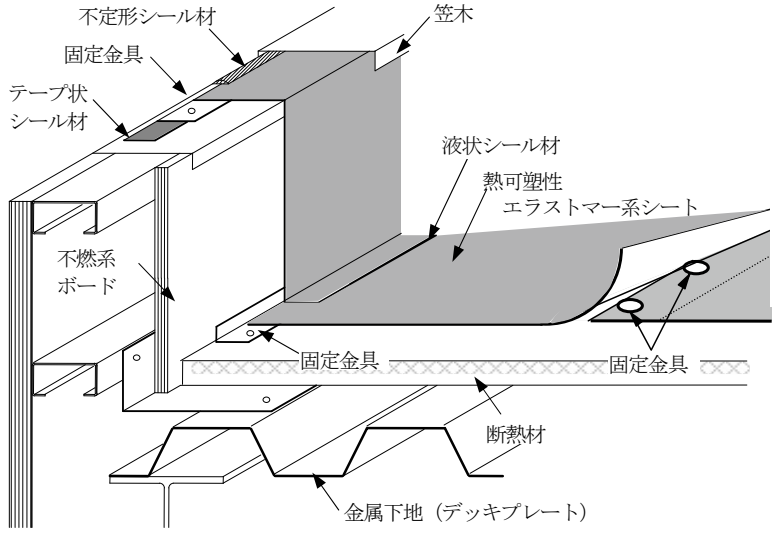


［備考］
シートの固定方法はルーフィングシート製造所の工法による。

工法＼材料＼工程		1	2	3	－	－
	屋根 勾配	断熱材 (㎡/㎡)	固定金具 (個/㎡)	シート (㎜)	－	－
ＲＴ－Ｍ４０１	1/100 以上	1.0	1.1～2.8	1.2	－	－

KRK工法番号	シート種別	工法の種類	適用下地	JASS 8	国土交通省
ＲＴ－Ｍ４０３	熱可塑性エラストマー系シート	露出断熱 機械的固定	金 属	参考仕様(ノ)	－

図番39

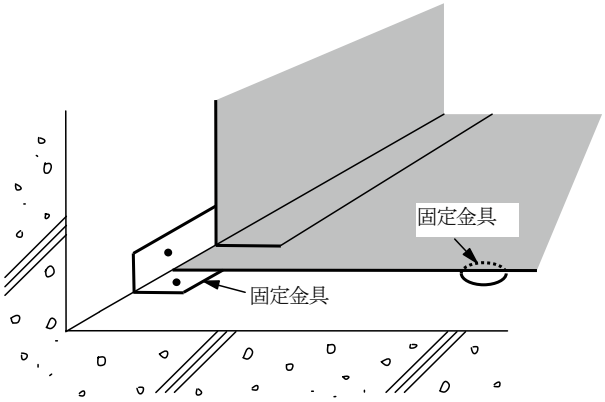


［備考］
(1) シートの固定方法はルーフィングシート製造所の工法による。
(2) 立上り部を接着する場合のシートの納まりはRT-F101を参照。

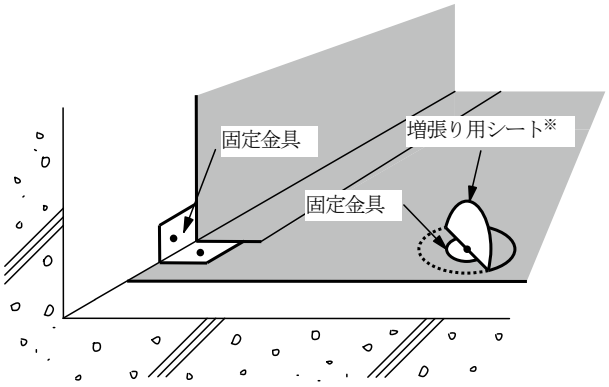
工法＼材料＼工程		1	2	3	4	－
	屋根 勾配	断熱材 (㎡/㎡)	絶縁用シート (㎡/㎡)	固定金具 (個/㎡)	シート (㎜)	－
ＲＴ－Ｍ４０３	1/100以上	1.0	1.1	1.1～2.8	1.2	－

★　シートの固定方法

機械的固定工法におけるシートの下地への固定方法は、ルーフィングシート製造所の指定ごとに異なる。一般的な固定方法を下図に示す。

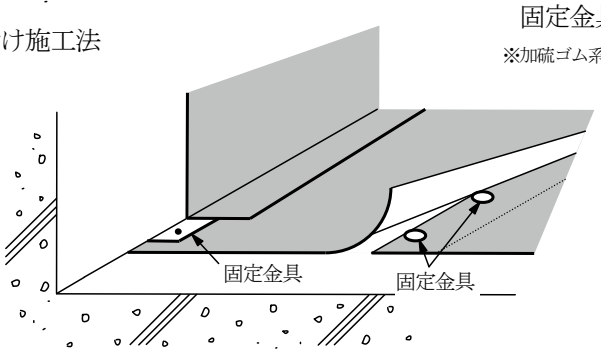


固定金具の先付け施工法



固定金具の後付け施工法

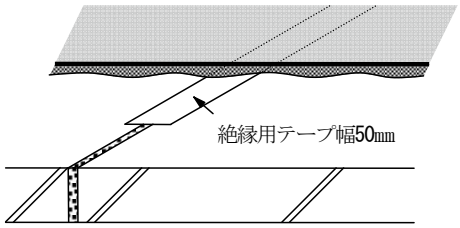
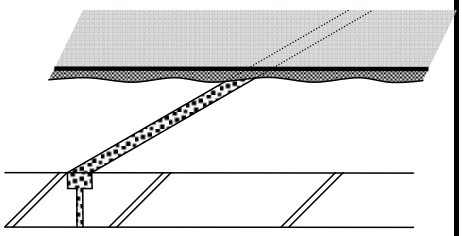
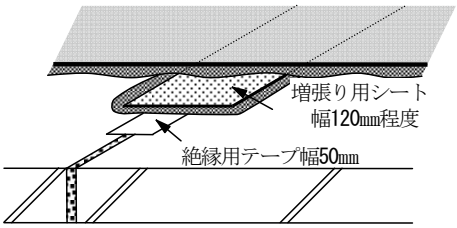
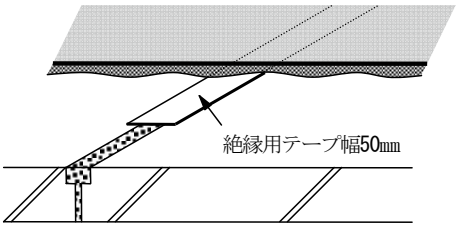
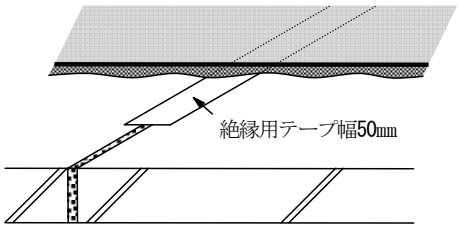
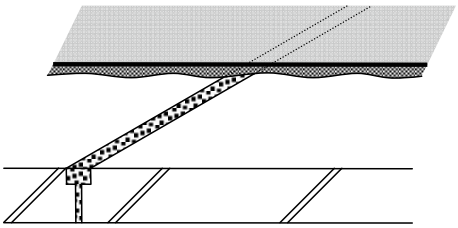
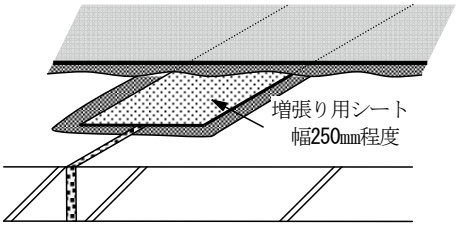
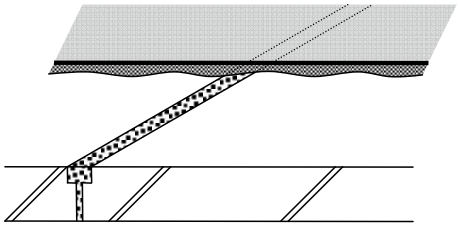
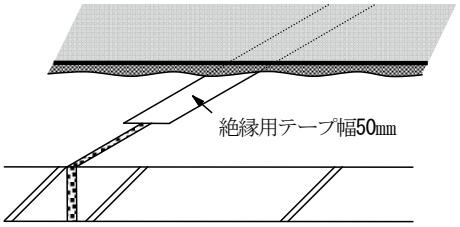
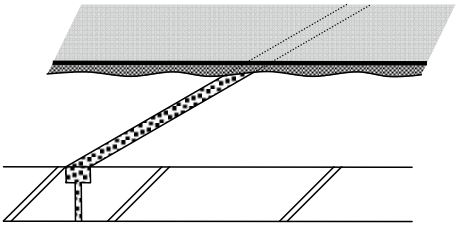
※加硫ゴム系シートの場合は粘着層付き増し張りシートを使用する。



固定金具の接合部内施工法

３－４　ＡＬＣパネル下地の接合部処理

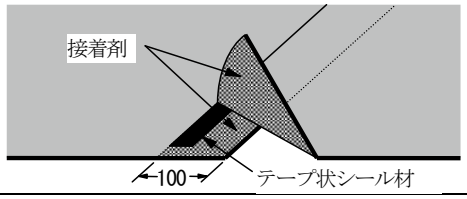
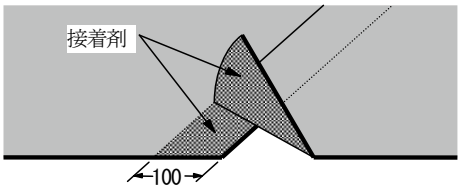
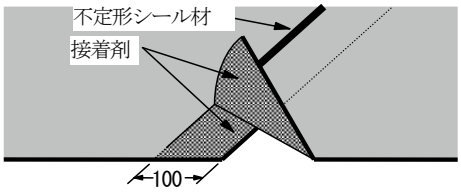
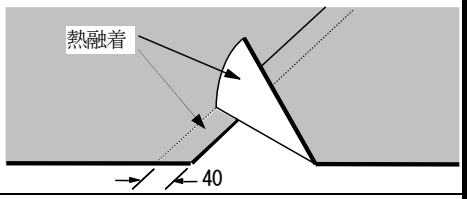
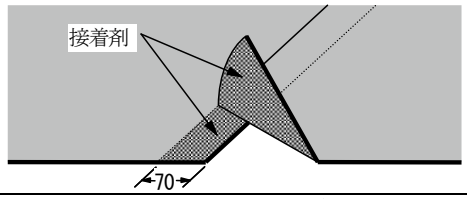
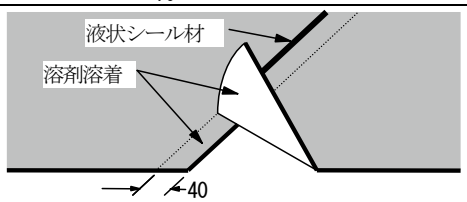
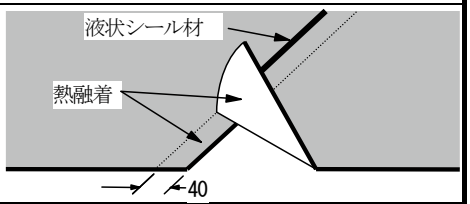
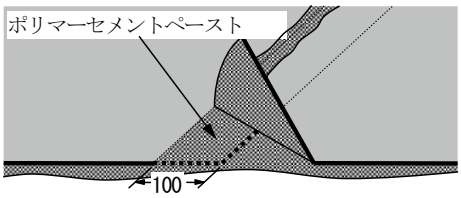
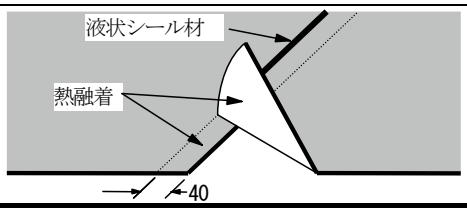
図番 40

KRK工法番号	シート種別	部位・下地	
		ＡＬＣパネル短辺の接合部	ＡＬＣパネル長辺の接合部
RV-F102	加硫ゴム系シート		
RN-F102	非加硫ゴム系シート		
RP-F102	塩化ビニル樹脂系シート		
RE-F102	エチレン酢酸ビニル樹脂系シート		
RT-F102	熱可塑性エラストマー系シート		

３－５　シート相互の接合

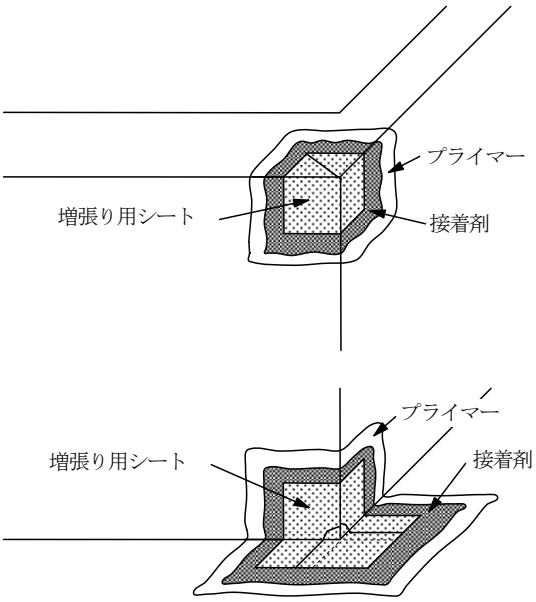
ルーフィングシート相互の接合幅は下表を標準とする。また、一般部ルーフィングシートの接合部は下図(例)に示す。

シートの種別	接合幅（mm）	
	一般部	平場と立上りとの取合い部
RV　加硫ゴム系	100以上	150以上
RN　非加硫ゴム系	70以上	150以上
RP　塩化ビニル樹脂系	40以上	40以上
RE　エチレン酢酸ビニル樹脂系	100以上	100以上
RT　熱可塑性エラストマー系	40以上	40以上

略号	シート種別	シート相互の重ね合わせ（下地共通）　図番41	
RV	加硫ゴム系シート		
RV	加硫ゴム系シート		
RN	非加硫ゴム系シート		
RP	塩化ビニル樹脂系シート		
RE	エチレン酢酸ビニル樹脂系シート		
RT	熱可塑性エラストマー系シート		

３－６　出・入隅角の処理

KRK工法番号	シート種別	特殊部位 出隅角	図番42
RV－共通 RN－共通 RE－共通	加硫ゴム系 非加硫ゴム系 エチレン酢酸ビニル樹脂系		

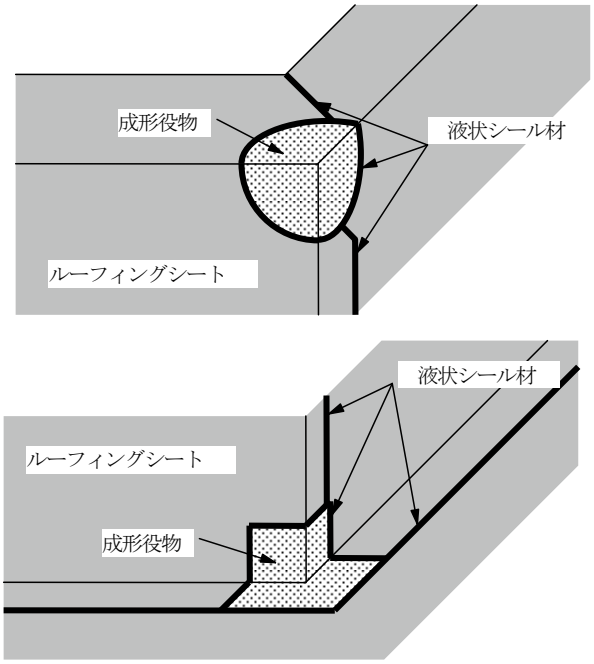


［備考］

(1) ルーフィングシートの張付けに先立ち増張り用シート又は成形役物を張る。

(2) REの場合は天端の出隅への増張りは行わない。

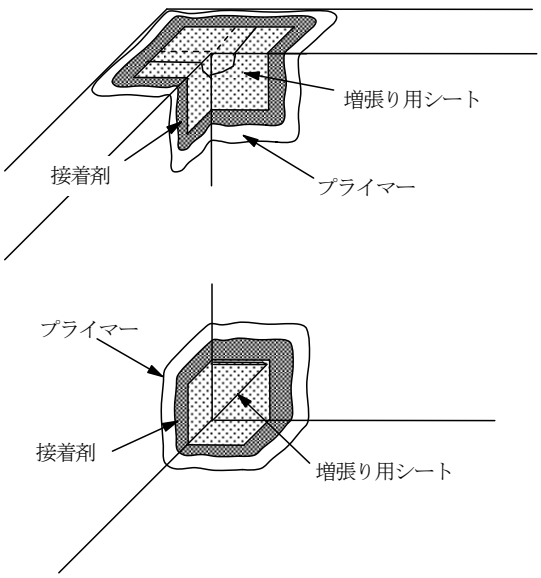
KRK工法番号	シート種別	特殊部位 出隅角	図番43
RP-共通 RT-共通	塩化ビニル樹脂系 熱可塑性エラストマー系		



［備考］

ルーフィングシート張付け後に成形役物を熱融着し、その末端部を液状シール材でシールする。

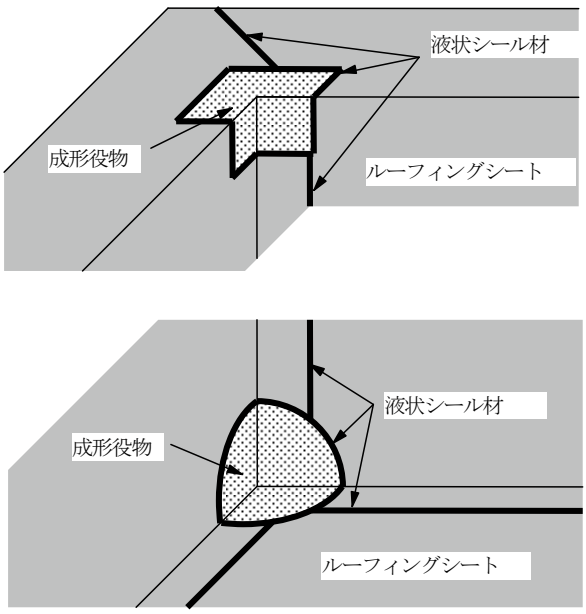
KRK工法番号	シート種別	図番44
RV－共通 RN－共通 RE－共通	加硫ゴム系 非加硫ゴム系 エチレン酢酸ビニル樹脂系	特殊部位 入隅角



［備考］

ルーフィングシートの張付けに先立ち増張り用シート又は成形役物を張る。

KRK工法番号	シート種別	図番45
RP-共通 RT-共通	塩化ビニル樹脂系 熱可塑性エラストマー系	特殊部位 入隅角

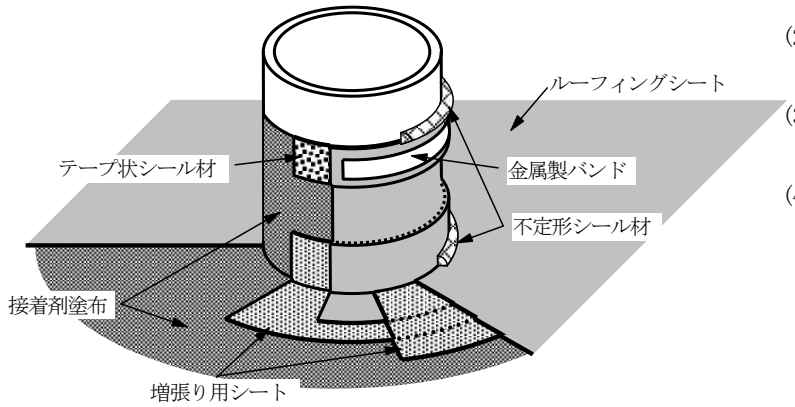


［備考］

ルーフィングシート張付け後に成形役物を熱融着し、その末端部を液状シール材でシールする。

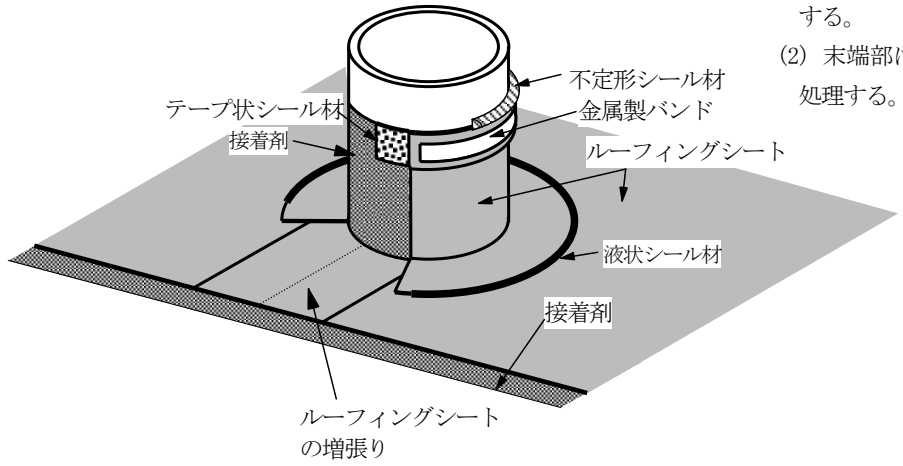
３－７　パイプ回りの処理

KRK工法番号	シート種別	図番46
RV－F RN－F	加硫ゴム系 非加硫ゴム系	特殊部位 パイプ回り



［備考］
(1) あらかじめ増張り用ルーフィングシートをパイプ及び下地に張り掛ける。
(2) 取合い部は切り込みすぎないようにする。
(3) 平場シートのパイプまわりを切りすぎないようにする。
(4) 末端部は不定形シール材を用いて処理する。

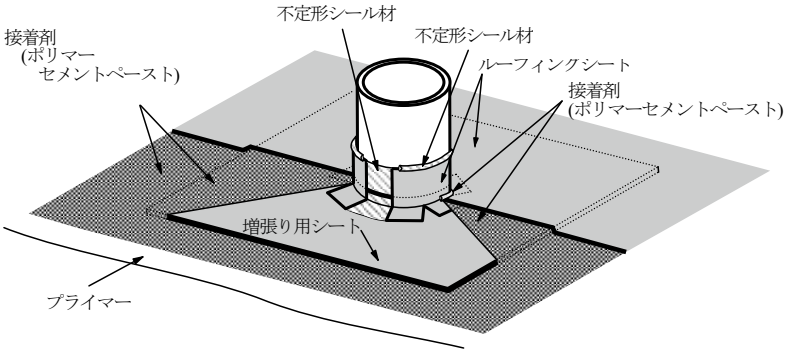
KRK工法番号	シート種別	図番47
RP－F RT－F	塩化ビニル樹脂系 熱可塑性エラストマー系	特殊部位 パイプ回り



［備考］
(1) パイプに張るルーフィングシートは 20~30 ㎜程度めくり起こして張り付け、平場に張り下げて熱融着する。
(2) 末端部は液状シール材を用いて処理する。

KRK工法番号	シート種別	特殊部位 パイプ回り
RE－F共通	エチレン酢酸ビニル樹脂系	

図番48



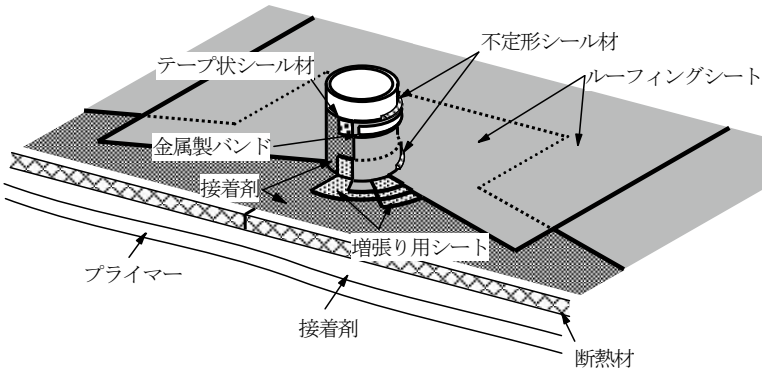
［備考］

(1) パイプとほぼ同じ大きさの穴をあけた増張り用ルーフィングシートをポリマーセメントペーストで張り付ける。

(2) パイプと立上げた増張り用ルーフィングシートの間に不定形シール材を隙間なく充填する。

KRK工法番号	シート種別	特殊部位 パイプ回り
RV－F断熱	加硫ゴム系	

図番49



［備考］

(1) あらかじめ増張り用シートをパイプ及び下地に張り掛ける。

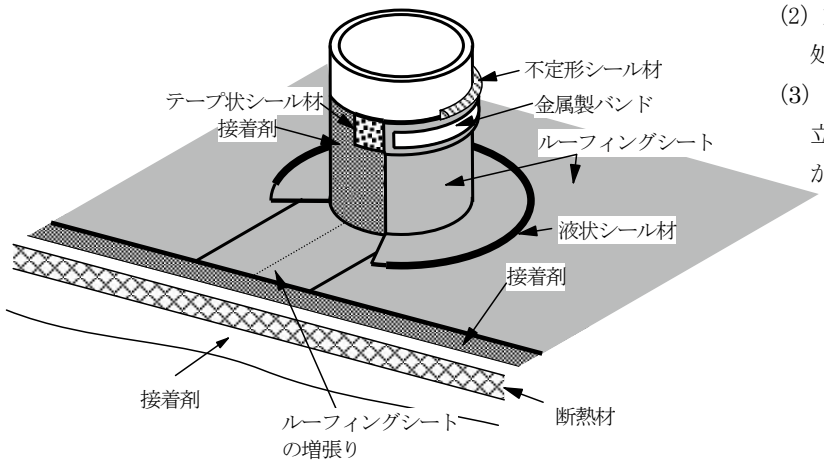
(2) 取合い部は切り込みすぎないようにする。

(3) 平場シートのパイプまわりを切りすぎないようにする。

(4) 末端部は不定形シール材を用いて処理する。

(5) ルーフィングシートの敷設に先立ち、断熱材をパイプ回りに隙間ができないように張り付ける。

KRK工法番号	シート種別	特殊部位 パイプ回り	図番50
RP－F断熱	塩化ビニル樹脂系		



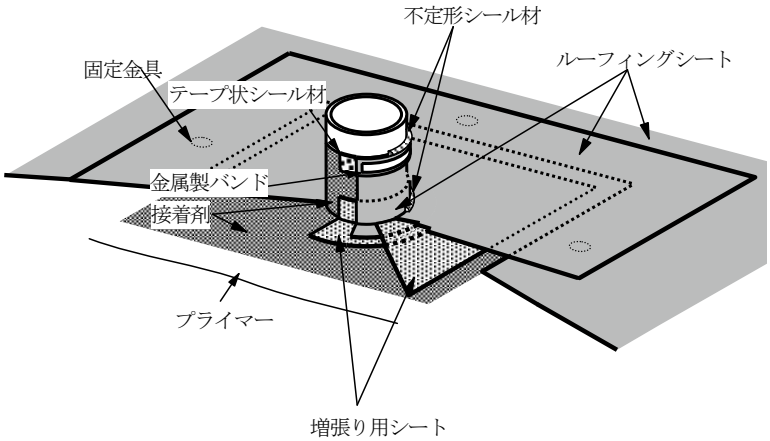
［備考］

(1) パイプに張るルーフィングシートは 20~30 ㎜程度めくり起こして張り付け、平場に張り下げて熱融着する。

(2) 末端部は液状シール材を用いて処理する。

(3) ルーフィングシートの敷設に先立ち、断熱材をパイプ回りに隙間ができないように張り付ける。

KRK工法番号	シート種別	特殊部位 パイプ回り	図番51
RV－M	加硫ゴム系		



［備考］

(1) あらかじめ増張り用シートをパイプ及び下地に張り掛ける。

(2) 取合い部は切り込みすぎないようにする。

(3) 平場シートのパイプまわりを切りすぎないようにする。

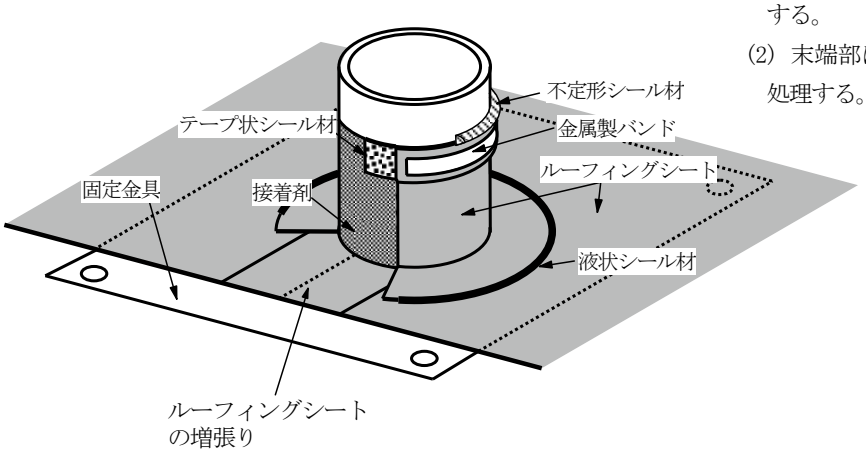
(4) 末端部は不定形シール材を用いて処理する。

KRK工法番号	シート種別	特殊部位 パイプ回り	図番52
RP－M RT－M	塩化ビニル樹脂系 熱可塑性エラストマー系		

［備考］

(1) パイプに張るルーフィングシートは 20~30 ㎜程度めくり起こして張り付け、平場に張り下げて熱融着する。

(2) 末端部は液状シール材を用いて処理する。



KRK工法番号	シート種別	特殊部位 パイプ回り	図番53
RV－M断熱	加硫ゴム系		

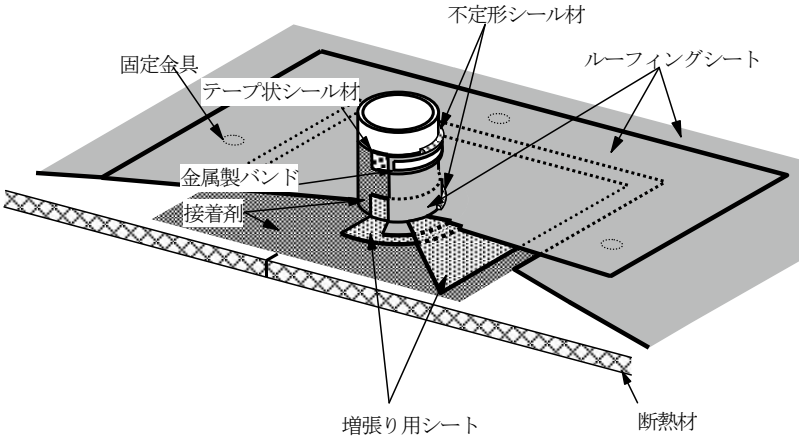
［備考］

(1) あらかじめ増張り用シートをパイプ及び下地に張り掛ける。

(2) 取合い部は切り込みすぎないようにする。

(3) 平場シートのパイプまわりを切りすぎないようにする。

(4) 末端部は不定形シール材を用いて処理する。

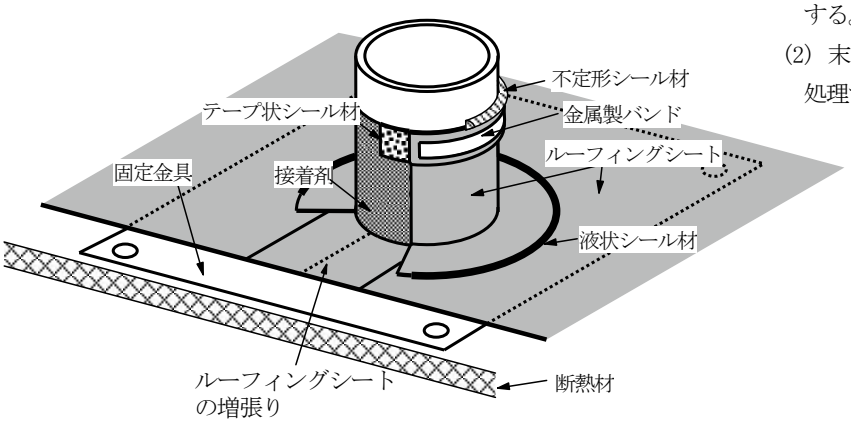


KRK工法番号	シート種別	特殊部位 パイプ回り	図番54
RP－M断熱 RT－M断熱	塩化ビニル樹脂系 熱可塑性エラストマー系		

［備考］

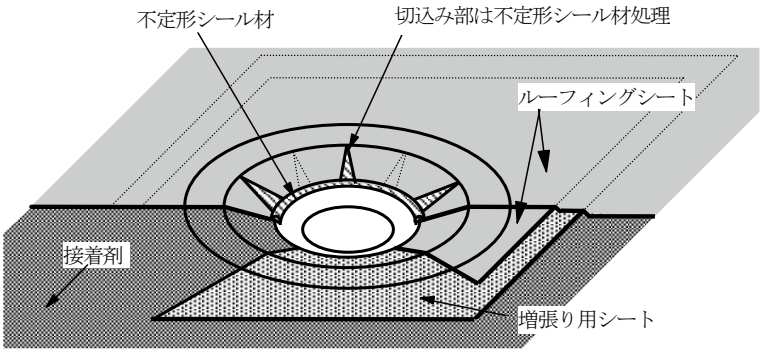
(1) パイプに張るルーフィングシートは 20~30 ㎜程度めくり起こして張り付け、平場に張り下げて熱融着する。

(2) 末端部は液状シール材を用いて処理する。



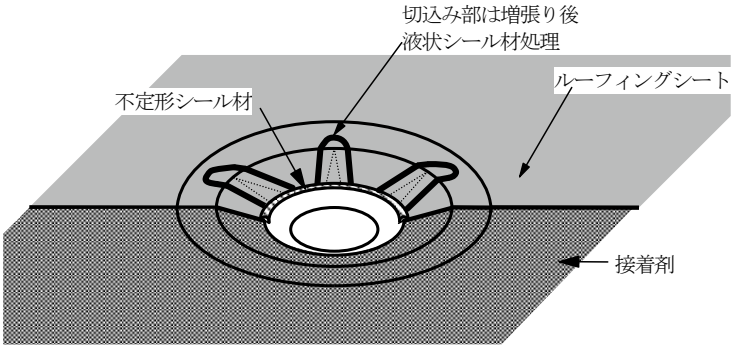
３－８　ドレン回りの処理

KRK工法番号	シート種別	特殊部位 ドレン回り	図番55
RV－F RN－F	加硫ゴム系 非加硫ゴム系		



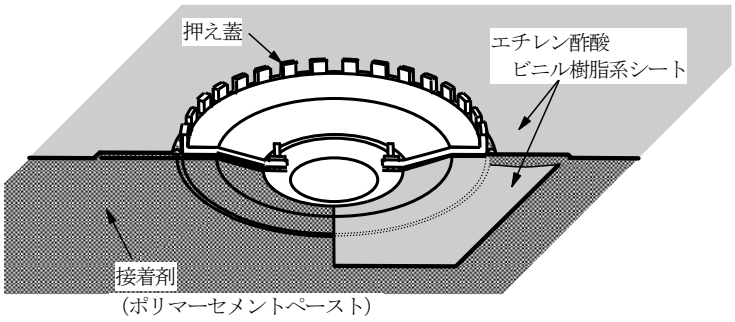
［備考］
(1) ルーフドレンと下地に増張り用ルーフィングシートを張り掛ける。
(2) ルーフドレンになじむように形状に合わせて張り付ける。
(3) 浮き、くちあきができないように張り付け、末端部は不定形シール材で処理する。
(4) 切込みを入れた場合は、不定形シール材で処理する。

KRK工法番号	シート種別	特殊部位 ドレン回り	図番56
RP－F RT－F	塩化ビニル樹脂系 熱可塑性エラストマー系		



［備考］
(1) ルーフドレンと下地に増張り用ルーフィングシートを張り掛ける。
(2) ルーフドレンになじむように形状に合わせて張り付ける。
(3) 浮き、くちあきができないように張り付け、末端部は不定形シール材で処理する。
(4) 切込みを入れた場合は、切込み部に増張りし、液状シール材で処理する。

KRK工法番号	シート種別	図番57
RE－F	エチレン酢酸ビニル樹脂系	特殊部位 ドレン回り



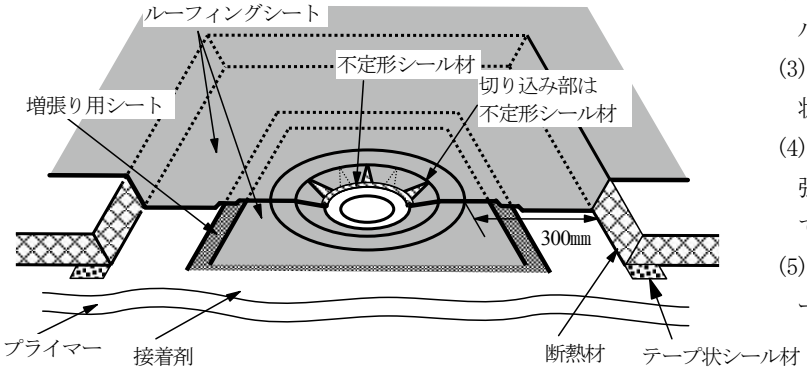
［備考］

(1) ルーフドレンと下地に増張り用ルーフィングシートを張り掛ける。

(2) ルーフドレンになじむように形状に合わせて張り付ける。

(3) ポリマーセメントペーストで増張り用ルーフィングシート張り付け直後にドレン押え蓋を取り付ける。

KRK工法番号	シート種別	図番58
RV－F断熱 RN－F断熱	加硫ゴム系 非加硫ゴム系	特殊部位 ドレン回り



［備考］

(1) 断熱材をドレンのつばの300㎜手前で止め、端部は45°程度の勾配とする。

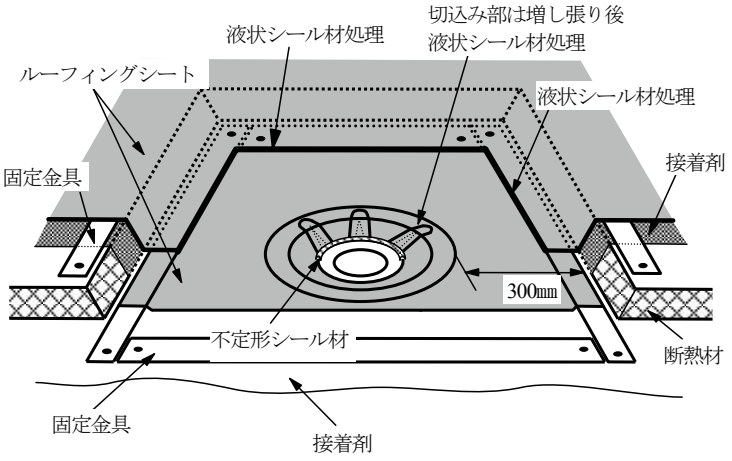
(2) ルーフドレンと下地に増張り用ルーフィングシートを張り掛ける。

(3) ルーフドレンになじむように形状に合わせて張り付ける。

(4) 浮き、くちあきができないように張り付け、末端部は不定形シール材で処理する。

(5) 切込みを入れた場合は、不定形シール材で処理する。

KRK工法番号	シート種別	特殊部位 ドレン回り	図番59
RP－F断熱	塩化ビニル樹脂系		



［備考］

(1) 断熱材をドレンのつばの300㎜手前で止め、端部は45°程度の勾配とする。

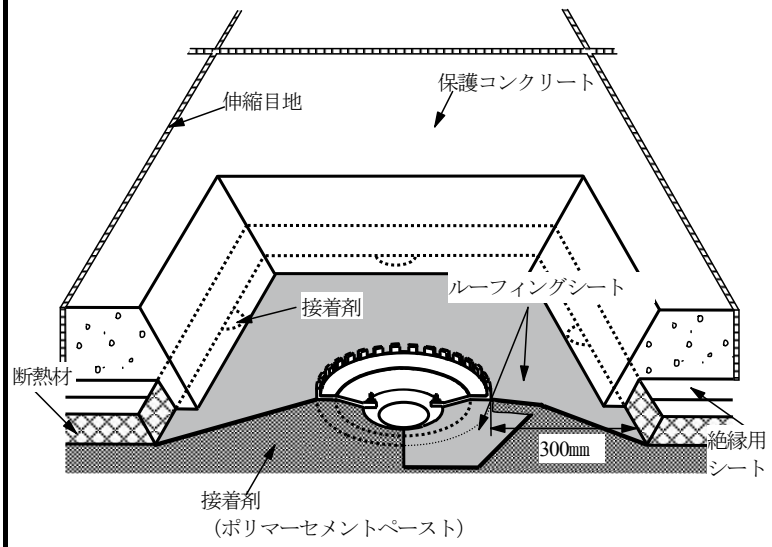
(2) ルーフドレンと下地に増張り用シートを張り掛ける。

(3) ルーフドレンになじむように形状に合わせて張り付ける。

(4) 浮き、くちあきができないように張り付け、末端部は不定形シール材で処理する。

(5) 切込みを入れた場合は、切込み部に増張りし、液状シール材で処理する。

KRK工法番号	シート種別	特殊部位 ドレン回り	図番60
RE－F断熱	エチレン酢酸ビニル樹脂系		



［備考］

(1) 断熱材をドレンのつばの 300 ㎜手前で止め、端部は 45°程度の勾配とする。

(2) ルーフドレンと下地に増張り用シートを張り掛ける。

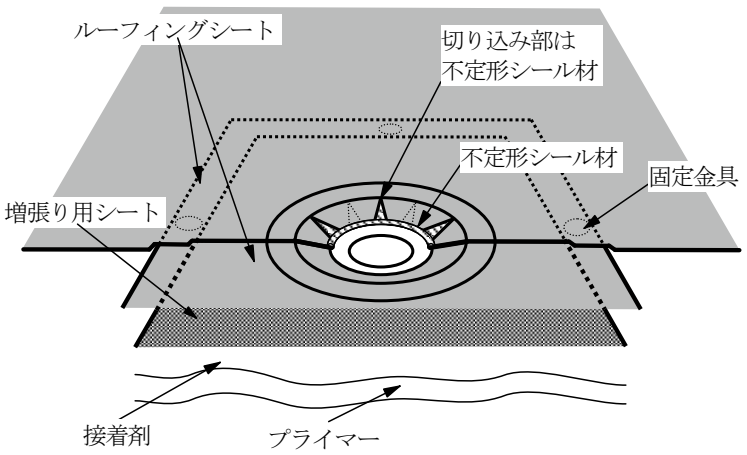
(3) ルーフドレンになじむように形状に合わせて張り付ける。

(4) 増張り用シートを張り付けた直後、押え蓋を取り付ける。

(5) 断熱材は、ポリスチレンフォーム保温板を使用する。

(6) 断熱材用接着剤の塗布方法はルーフィングシート製造所の工法による。

KRK工法番号	シート種別	図番61
RV－M	加硫ゴム系	特殊部位 ドレン回り



［備考］

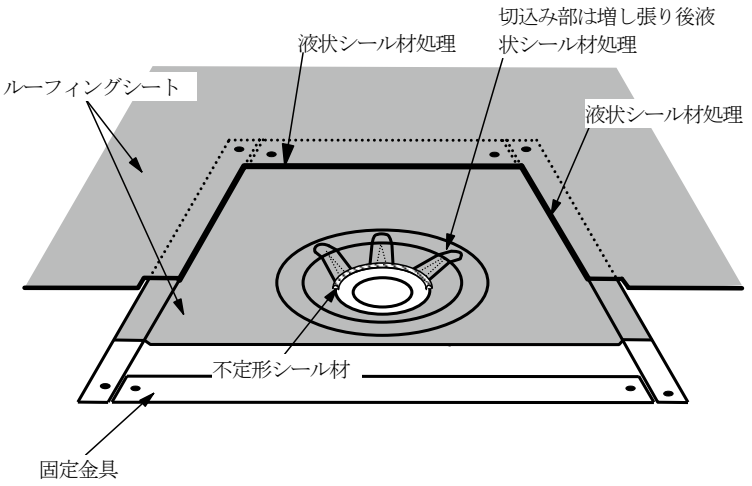
(1) ルーフドレンと下地に増張り用シートを張り掛ける。

(2) ルーフドレンになじむように形状に合わせて張り付ける。

(3) 浮き、くちあきができないように張り付け、末端部は不定形シール材で処理する。

(4) 切込みを入れた場合は、不定形シール材で処理する。

KRK工法番号	シート種別	図番62
RP－M RT－M	塩化ビニル樹脂系シート 熱可塑性エラストマーシート	特殊部位 ドレン回り



［備考］

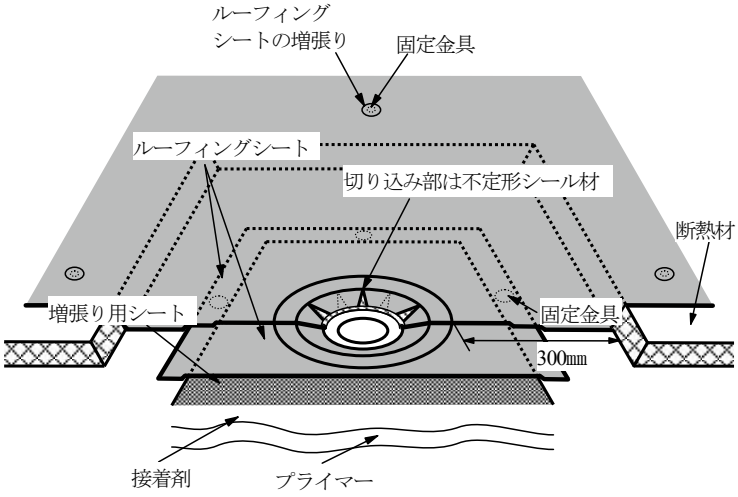
(1) ルーフドレンと下地に増張り用シートを張り掛ける。

(2) ルーフドレンになじむように形状に合わせて張り付ける。

(3) 浮き、くちあきができないように張り付け、末端部は不定形シール材で処理する。

(4) 切込みを入れた場合は、切込み部に増張りし、液状シール材で処理する。

KRK工法番号	シート種別	特殊部位 ドレン回り	図番63
RV－M断熱	加硫ゴム系		



［備考］

(1) 断熱材をドレンのつばの300㎜手前で止め、端部は45°程度の勾配とする。

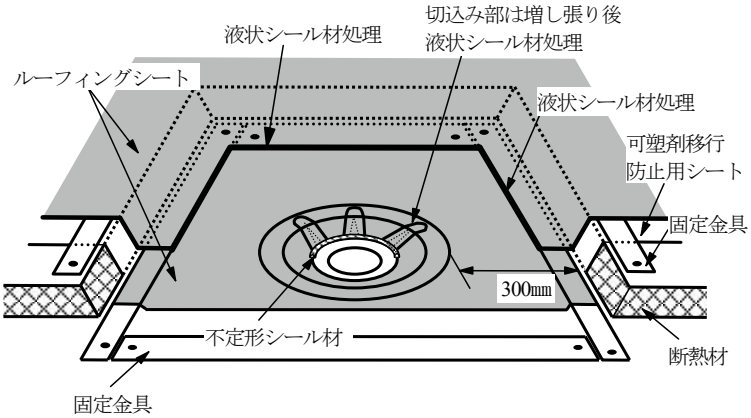
(2) ルーフドレンと下地に増張り用シートを張り掛ける。

(3) ルーフドレンになじむように形状に合わせて張り付ける。

(4) 浮き、くちあきができないように張り付け、末端部は不定形シール材で処理する。

(5) 切込みを入れた場合は、不定形シール材で処理する。

KRK工法番号	シート種別	特殊部位 ドレン回り	図番64
RP－M断熱 RT－M断熱	塩化ビニル樹脂系シート 熱可塑性エラストマーシート		



［備考］

(1) 断熱材をドレンのつばの 300 ㎜手前で止め、端部は45°程度の勾配とする。

(2) ルーフドレンと下地に増張り用シートを張り掛ける。

(3) ルーフドレンになじむように形状に合わせて張り付ける。

(4) 浮き、くちあきができないように張り付け、末端部は不定形シール材で処理する。

(5) 切込みを入れた場合は、切込み部に増張りし、液状シール材で処理する。

(6) 熱可塑性エラストマーシートの場合、可塑剤移行防止用シート不要。